

案

豊中市地域医療推進基本方針 (改定版)

別冊〔豊中市医療体制〕

令和6年（2024年）10月
豊中市

豊中市の安心を支える医療の提供

(1). 豊中市の医療体制の概要

(2). 豊中市の人口構造の変化

(3). 豊中市の5疾病の状況

●がん ●脳卒中等の脳血管疾患 ●心筋梗塞等の心血管疾患 ●糖尿病 ●精神疾患

(4). 豊中市の5事業の状況

▶医療計画上の4事業および在宅医療

●救急医療 ●感染症 ●周産期医療 ●小児医療 ●在宅医療

(5). 市立豊中病院の役割と方向性

豊中市の安心を支える医療の提供

要旨

基本理念

『超高齢社会にあっても、全世代の市民が本人・家族の希望や病状に応じて、適切な医療を受けることができるよう地域の医療体制を構築します』

背景・課題

□ 超高齢社会における医療ニーズの変化

- * 2040年を見据え、次の機能を確保する必要
 - ・ 増加する高齢者救急への対応
 - ・ 複数の慢性疾患の継続的な管理を行う機能
 - ・ 生活の場で高齢者を支える在宅医療を行う機能
 - ・ 高齢者の生活を支える観点から治療等とともに健康相談・生活指導等を行う機能

□ 生産年齢人口の減少と医師の働き方改革

- * 医療人材の確保が困難になると見込まれる中、効率的に質の高い持続可能な医療を提供する必要（医療資源の有効活用）

《 国 の 動 き 》 》 》

- かかりつけ医機能報告制度
 - ・ 令和7年（2025年）4月施行：かかりつけ医機能報告の創設
- 新・地域医療構想
 - ・ 令和9年度（2027年度）：新たな地域医療構想の取組み
- 医療DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
 - ・ マイナンバーカードと健康保険証の一体化の加速
 - ・ 全国医療情報プラットフォームの構築
 - ・ 電子カルテ情報の標準化、診療情報改定DX



取組み・方向性

□ 医療機能の分化・強化と連携の推進

- * 医療における地域連携（病病連携、病診連携、診診連携）および医介連携（医療と介護）を有機的に進め、地域完結型の医療体制を推進
- * 超高齢社会により今後増加が見込まれる疾患（肺炎、尿路感染症、骨折等）を中心に対応する医療機関と高度・専門医療（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、小児、周産期等）を中心に対応する医療機関との分化・強化

□ 身近なところで必要な医療が受けられる体制の推進

- * かかりつけ医機能（＝身近な地域における日常的な医療の提供、必要に応じて適切な医療機関を紹介、健康管理に関する相談対応等）の充実化
- * 豊中モデルの推進による在宅医療体制の強化（診療所と診療所の連携、かかりつけ医と病院の連携（急性増悪時のバックアップ体制等））
⇒ 「大きな病院に行かないと必要な医療が受けられないのではないか」という不安を解消

□ 医療人材育成とデジタル化の推進

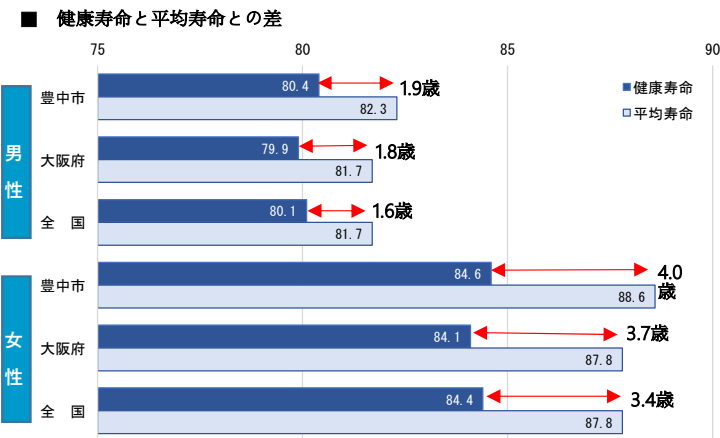
- * 市立豊中病院と大阪大学医学部附属病院との連携強化による医師確保、医療人材育成を推進
- * 医療DXの推進に伴うシステム人材の有効活用やデジタル化、ICTの利活用による、切れ目のない質の高い医療の効率的な提供を推進

豊中市の安心を支える医療の提供

要旨

豊中市の人口構造の変化

- 男性・女性ともに平均寿命、健康寿命は年々延伸しており全国・府平均より高い推移であるが、平均寿命と健康寿命の差（健康期間でない期間）も長い
- 死亡数は増加傾向にあり、とくに自宅死亡者数は年々増え、その割合は府平均に比べて高い



■ 死亡者数と死亡場所の推移 単位：人（下段は割合）

年度		2016	2017	2018	2019	2020	2021
豊中市	病院	2,341	2,410	2,446	2,429	2,332	2,299
		67.1%	66.5%	65.1%	65.4%	60.7%	57.1%
	老人ホーム	316	304	338	387	414	477
		9.1%	8.4%	9.0%	10.4%	10.8%	11.9%
	介護老人保健施設	51	78	67	74	91	88
		1.5%	2.2%	1.8%	2.0%	2.4%	2.2%
大阪府	自宅	668	695	743	713	884	1,049
		19.2%	19.2%	19.8%	19.2%	23.0%	26.1%
	病院	62,939	64,072	64,384	65,146	62,896	63,929
		74.6%	73.6%	71.9%	72.1%	68.6%	65.7%
	老人ホーム	4,961	5,405	6,165	6,505	7,266	8,506
		5.9%	6.2%	6.9%	7.2%	7.9%	8.7%
	介護老人保健施設	1,138	1,342	1,485	1,528	1,632	1,880
		1.3%	1.5%	1.7%	1.7%	1.8%	1.9%
	自宅	12,971	13,867	14,957	14,842	17,441	20,308
		15.4%	15.9%	16.7%	16.4%	19.0%	20.9%

豊中市の医療体制の概要

- 市内19病院全体において、一般病床における4つの医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）と、精神科病院を有し、患者の状態に見合った病床で身近に医療を提供することが可能である
- 人口10万人あたりの診療所数が多く、医療へのアクセスが良いなどの好条件に加え、平時から市と市医師会や豊中市病院連絡協議会等との保健医療の良好な連携体制が構築されている

2024年4月現在 一般病床				精神 病床
高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	
210床	1,043床	449床	1,179床	916床
病院機能（豊中市病院連絡協議会：市内全19病院参加）				
・急性期病院（主に重症・中等症）・・・1病院				
・急性期ケアミックス型病院・・・4病院				
・急性期病院（主に軽症・中等症）・・・4病院				
・後方支援ケアミックス型病院・・・2病院				
・回復期リハビリ病院・・・1病院				
・慢性期病院・・・5病院				
・精神科病院・・・2病院				

2022年11月現在		医療機関数		人口10万人あたりの医療機関数	
医療機関種類		豊中市		豊中市	
		豊中市		全国平均	
一般診療所数	406	101.11	69.98		
在宅療養支援診療所数	86	21.42	11.45		

豊中市の安心を支える医療の提供

要旨

豊中市の5疾病・5事業の状況

		医療提供体制	主な機能を担う病院
5 疾 病	がん	市立豊中病院では、ロボット支援手術を含めた低侵襲手術や放射線治療、薬物療法、大阪大学医学部附属病院と連携したがんゲノム医療など質の高いがん医療を提供している。	地域がん診療連携拠点病院：市立豊中病院
	脳卒中等の 脳血管疾患	脳血管疾患の急性期治療を行う3施設では、脳動脈瘤根治術や脳血管内手術、t-PA静脈療法などの医療を提供している。	急性期治療：市立豊中病院、関西メディカル病院、大阪脳神経外科病院
	心筋梗塞等の 心血管疾患	心血管疾患の急性期治療を行う2施設では、経皮的冠動脈形成術、冠動脈ステント留置術などの医療を提供している。	急性期治療：市立豊中病院、関西メディカル病院
	糖尿病	糖尿病治療を行う13病院でインスリン療法が可能。合併症治療については網膜光凝固術が2病院可能、血液透析が5病院可能であり、専門的医療を提供している。	専門的治療：市立豊中病院など13病院
	精神疾患	都道府県連携拠点医療機関の2施設が、重症例の治療や専門プログラムの普及を担っており、統合失調症などの精神疾患医療を提供している。	都道府県連携拠点医療機関 ：小曽根病院、さわ病院
5 事 業	救急医療	初期救急は2施設、二次救急は11施設が可能であり、三次救急は豊能二次医療圏で2施設が可能であり、救急医療を提供している。	救急告示病院（2次告示） ：市立豊中病院、関西メディカル病院など11病院
	感染症	感染症法に基づく大阪府と医療機関（病院、診療所、薬局、訪看事業所）では、新興感染症等発生時における医療措置協定を締結し、医療提供体制を確保している。	感染症指定医療機関（第二種）：市立豊中病院 感染対策向上加算1： ：市立豊中病院、大阪刀根山医療センター
	周産期医療	分娩取扱医療機関は5施設が可能である。市立豊中病院では、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩に対応した高度専門的な医療を提供している。	地域周産期母子医療センター：市立豊中病院
	小児医療	市立豊中病院では、一般小児医療を担う医療機関では対応が困難な患者に対し、高度な診断・検査・治療などの小児専門医療を提供している。	小児地域医療センター：市立豊中病院
	在宅医療	在宅医療に必要な連携を担う拠点として「豊中市」と「豊中市医師会」が共同で担う。退院支援から看取り、急変時まで連携による在宅医療を提供している。	在宅療養後方支援病院：大阪刀根山医療センター、 関西メディカル病院、千里中央病院

豊中市の安心を支える医療の提供

要旨

市立豊中病院の役割と方向性

- 豊能医療圏における急性期医療の患者数は、特定機能病院の2病院に次いで**第3位**、手術件数では**第2位**となっている。
- 疾患別患者数では、消化器系疾患、腎・尿路系疾患、小児疾患が**第1位**、その他の多くの疾患でも上位となっている。
- 豊能医療圏及び大阪市北部の公立・公的病院、地域医療支援病院等の中にあっても、高度な医療の提供機能があり、様々な疾患に対応できる総合的な体制がある。⇒今後も、豊中市・豊能医療圏の中核的な役割を果たす公立病院として、地域医療機関等との役割分担と連携を進め、緊急症例への対応、小児・周産期など市の政策に沿った医療の遂行とともに、高度専門医療を身近に提供することで市民・地域に貢献していく。

	医療機関	豊能医療圏 DPC患者数割合	豊能医療圏 手術件数 割合	がん診療 拠点病院 ※1	周産期母子医 療センター ※2	小児地域医療 センター・小児 中核病院 ※3	特定機能病 院・地域医療 支援病院 ※4
豊能二次医療圏	大阪大学医学部附属病院	19.3%	20.9%	■ 国指定	■	■	■
	国立循環器病研究センター	12.5%	10.3%				■
	市立豊中病院	12.1%	12.5%	■ 国指定	○	○	○
	市立池田病院	8.7%	9.2%	○ 府指定			○
	済生会吹田病院	8.1%	8.2%	○ 府指定	○	○	○
	市立吹田市民病院	8.0%	7.8%	○ 府指定			○
	済生会千里病院	6.6%	8.1%	○ 府指定			○
	箕面市立病院	5.8%	6.2%	○ 府指定			○
	関西メディカル病院	4.1%	3.6%				○
	大阪刀根山医療センター	1.7%	0.6%	○ 府指定			
大阪市北部	済生会中津病院	圏域外	圏域外	○ 府指定			○
	淀川キリスト教病院	圏域外	圏域外	○ 府指定	○	○	○
	十三市民病院	圏域外	圏域外	○ 府指定			

市立豊中病院

《豊能医療圏MDC別》R4年度DPC患者数

第1位

◎ 消化器系疾患
◎ 腎・尿路系疾患
◎ 小児疾患

第2位

◎ 内分泌・代謝疾患
◎ 女性生殖器系疾患
◎ 血液・造血器疾患

第3位

◎ 神経系疾患
◎ 耳鼻咽喉科系疾患
◎ 呼吸器系疾患
◎ 筋骨格系疾患
◎ 皮膚の疾患

※1 がん診療拠点病院
■ 国指定：地域がん診療連携拠点病院
○ 府指定：大阪府がん診療拠点病院

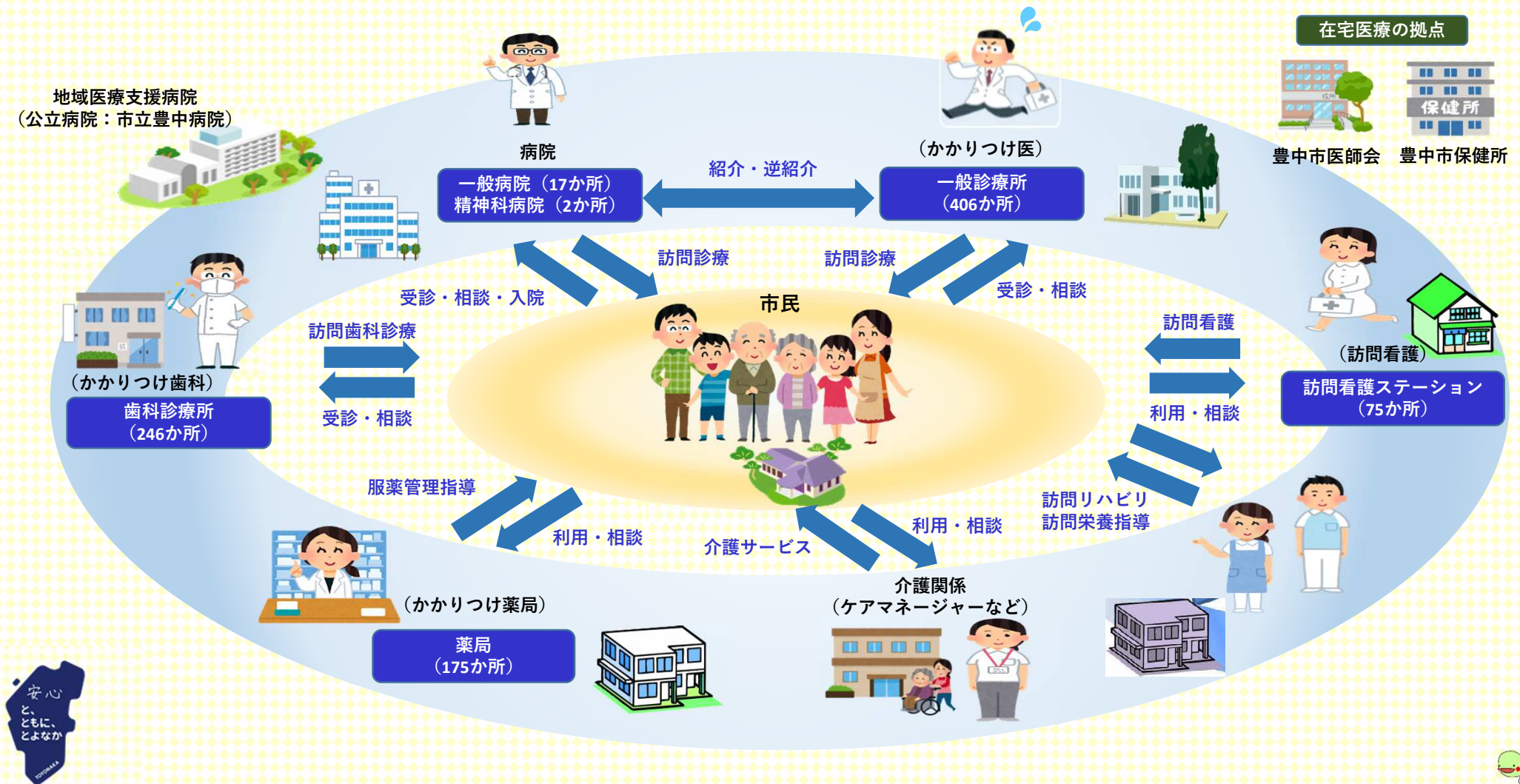
※2 周産期母子医療センター
■：総合周産期母子医療センター
○：地域周産期母子医療センター

※3 小児中核病院・小児地域医療センター
■：小児中核病院
○：小児地域医療センター

※4 特定機能病院・地域医療支援病院
■：特定機能病院
○：地域医療支援病院

豊中市の安心を支える医療の提供

要旨



(1). 豊中市の医療体制の概要

豊中市の病院数・病床数・在宅療養支援病院数

医療機関種類	医療機関数	人口10万人あたりの医療機関数	
	豊中市	豊中市	全国平均
病院数	19	4.73	6.46
病院病床数	3,826 ※	972.71	1,182.00
(再掲) 病院一般病床数	2,881 ※	596.43	701.36
在宅療養支援病院数	4	1.00	1.35
(再掲) 在宅療養支援病院 1：機能強化型（単独型）	1	0.25	0.21
(再掲) 在宅療養支援病院 2：機能強化型（連携型）	0	0.00	0.37
(再掲) 在宅療養支援病院 3	3	0.75	0.77

青字は、全国平均と比べて高い。赤字は、全国平均と比べて低い。

出典：JMAP地域医療情報システム（2022年11月現在の地域医療機関情報の集計値：人口10万人あたりは、2020年国勢調査総人口で計算）

※：豊中市の病院病床数及び（再掲）病院一般病床数は2024年4月現在

(1). 豊中市の医療体制の概要

豊中市の一般診療所数・在宅療養支援診療所数

医療機関種類	医療機関数	人口10万人あたりの医療機関数	
	豊中市	豊中市	全国平均
一般診療所数	406	101.11	69.98
在宅療養支援診療所数	86	21.42	11.45
(再掲) 在宅療養支援診療所 1：機能強化型（単独型）	1	0.25	0.19
(再掲) 在宅療養支援診療所 2：機能強化型（連携型）	27	6.72	2.91
(再掲) 在宅療養支援診療所 3	58	14.44	8.32

青字は、全国平均と比べて高い。赤字は、全国平均と比べて低い。

出典：JMAP地域医療情報システム（2022年11月現在の地域医療機関情報の集計値：人口10万人あたりは、2020年国勢調査総人口で計算）

(1). 豊中市の医療体制の概要

豊中市の歯科診療所・薬局・訪問看護ステーション数

医療機関種類	医療機関数	人口10万人あたりの医療機関数	
	豊中市	豊中市	全国平均
歯科診療所数	246	61.26	53.38
(再掲) 訪問歯科診療所数	36	8.97	6.89
薬局数	175	43.58	48.30
(再掲) 訪問薬局数	105	26.15	18.20
訪問看護ステーション	75※		

青字は、全国平均と比べて高い。赤字は、全国平均と比べて低い。

出典：JMAP地域医療情報システム（2022年11月現在の地域医療機関情報の集計値：人口10万人あたりは、2020年国勢調査総人口で計算）
※近畿厚生局の届出受理指定訪問看護事業所（2023年6月1日時点）

(1). 豊中市の医療体制の概要

豊中市の機能分類別病院一覧

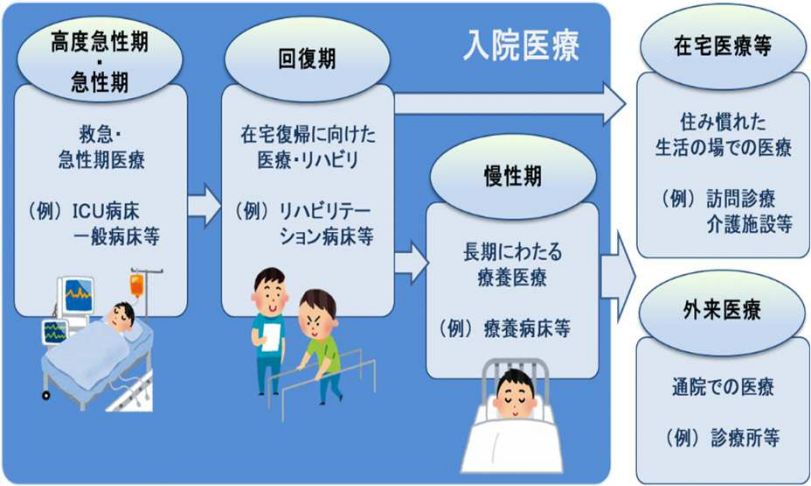
							(床)
病院名	病院機能分類	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	その他機能	計
市立豊中病院	急性期病院	139	410	-	-	感染症病床 14	563
大阪刀根山医療センター	急性期ケアミックス型病院	4	120	60	211	休棟中 15	410
関西メディカル病院	急性期ケアミックス型病院	57	123	45	-	-	225
大阪脳神経外科病院	急性期ケアミックス型病院	10	80	32	-	-	122
豊中若葉会病院	急性期ケアミックス型病院	-	60	-	55	-	115
上田病院	急性期病院	-	94	-	-	-	94
豊中敬仁会病院	急性期病院	-	60	-	-	-	60
千里山病院	急性期病院	-	59	-	-	-	59
小西病院	急性期病院	-	37	-	-	-	37
千里中央病院	後方支援ケアミックス型病院	-	-	125	275	-	400
豊中平成病院	後方支援ケアミックス型病院	-	-	43	58	-	101
関西リハビリテーション病院	回復期リハビリ病院	-	-	144	-	-	144
坂本病院	慢性期病院	-	-	-	229	-	229
坂本病院分院	慢性期病院	-	-	-	138	-	138
平成記念病院	慢性期病院	-	-	-	100	-	100
曽根病院	慢性期病院	-	-	-	58	-	58
真正会病院	慢性期病院	-	-	-	55	-	55
小曽根病院	精神科病院	-	-	-	-	精神病床 461	461
さわ病院	精神科病院	-	-	-	-	精神病床 455	455
計 (19病院)		210	1043	449	1179	945	3826

(1). 豊中市の医療体制の概要

病床機能／病院マップ

■ 病床機能

一般病床	高度急性期病床	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する病床
	急性期病床	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供するための病床
	回復期病床	急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供するための病床
	慢性期病床	長期にわたり療養が必要な患者を入院させるための病床
精神病床		精神疾患を有する者を入院させるための病床



■ 病院マップ



出典：とよなか病院ガイド
豊中市病院連絡協議会



(1). 豊中市の医療体制の概要

豊中市病院連絡協議会

理念

『地域完結型医療で、市民の命を守り、最後まで支えていきます。』

★ 1962年発足 ★

市内全19病院参加

沿革

協議会は、1962年11月に「豊中市病院懇話会」として、豊中市内の病院間の親睦を図ることを目的に11病院で発足。

1974年に「豊中市病院連絡協議会」に名称を変更し、総会以外に事務長部会を開催。

その後、部会活動も増え、現在に至る。運営にあたっては、規約等を作成。

会員は、19病院から8つの部会にそれぞれ1人選出されている形で構成されており、150人程度。

活動

【各病院の担当者から組織される8部会】

- 病院長部会
- リハビリテーション部会
- 薬局長部会
- 看護部長部会
- 栄養士部会
- 病病連携部会
- 放射線部会
- 事務長部会



会員病院

19病院
《 法人名五十音順 》

- ・医療法人協和会 千里中央病院
- ・医療法人康生会 豊中平成病院
- ・医療法人康生会 平成記念病院
- ・医療法人真正会 真正会病院
- ・医療法人善正会 上田病院
- ・医療法人藏春堂 小西病院
- ・医療法人曾根会 曾根病院
- ・医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院
- ・医療法人篤友会 坂本病院
- ・医療法人篤友会 坂本病院 分院
- ・医療法人篤友会 千里山病院
- ・医療法人豊済会 小曾根病院
- ・医療法人若葉会 豊中若葉会病院
- ・公益財団法人唐澤記念会 大阪脳神経外科病院
- ・社会医療法人彩樹 豊中敬仁会病院
- ・社会医療法人純幸会 関西メディカル病院
- ・社会医療法人北斗会 さわ病院
- ・独立行政法人国立病院機構大阪刀根山医療センター
- ・市立豊中病院

(1). 豊中市の医療体制の概要

豊中市の主な医療機関＊の医療施設機能

＊ 公的医療機関および地域医療支援病院

病 院 名	公的医療機関等	地域医療支援病院	社会医療法人開設病院	紹介受診重点医療機関	在宅療養後方支援病院	(国指定)がん診療連携拠点病院	(府指定)がん診療拠点病院	三次救急医療機関	災害拠点病院	感染症指定医療機関	エイズ治療拠点病院	周産期母子医療センター	小児地域医療センター
市立豊中病院	○	○		○		○				○ (第2種)		○ (地域)	○
大阪刀根山医療センター	○			○	○		○ (肺がん)				○ ※		
関西メディカル病院		○	○	○	○								

◎ 豊中市には三次救急医療機関と災害拠点病院はないが、豊能二次医療圏内にそれぞれ2施設（大阪大学医学部附属病院、済生会千里病院）がある。

※ 指定自立支援医療機関（免疫）

(1). 豊中市の医療体制の概要

豊能医療圏における急性期入院診療の状況

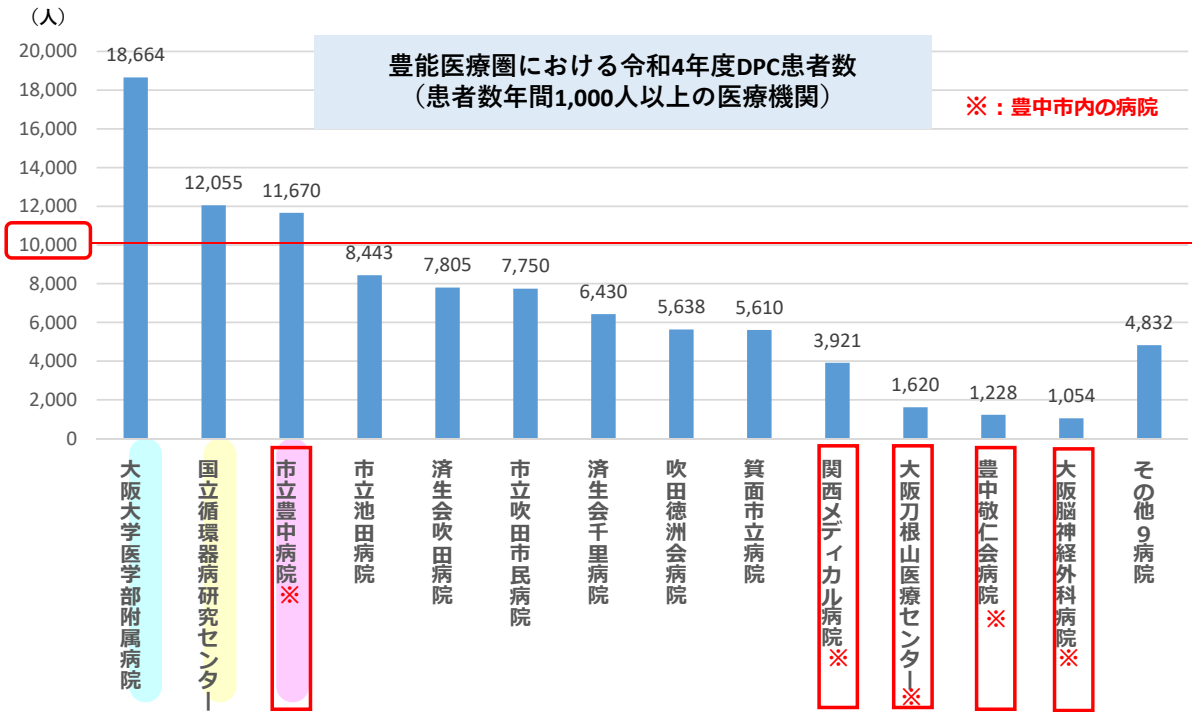
- 豊能医療圏における医療機関別DPC*患者数（令和4年度）
 - ◆ 1位：大阪大学医学部附属病院（18,664人）
 - ◆ 2位：国立循環器病研究センター（12,055人）
 - ◆ 3位：市立豊中病院（11,670人）

(*急性期入院医療を対象とする診断群分類に基づく1日あたり包括払い制度)
- 1位と2位は特定機能病院*として、高度医療を提供しており、圏域外からも多くの患者が集まる
- 市内でDPC患者数年間1,000人以上の医療機関は5病院
- 市立豊中病院は市内病院においても、豊能医療圏の公立病院においても最も多くの急性期入院診療を担っている

豊能医療圏における主要診断群（MDC※）別DPC患者数上位の医療機関

※MDC（Major Diagnostic Category）：WHO（世界保健機関）が制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群

MDC	神経系疾患	眼科系疾患	耳鼻咽喉科系疾患	呼吸器系疾患	循環器系疾患	消化器系疾患	筋骨格系疾患	皮膚の疾患	乳房の疾患	内分泌・代謝疾患	腎・尿路系疾患	女性生殖系疾患	血液・造血器疾患	新生児疾患	小児疾患	外傷・熱傷・中毒	精神疾患	その他
1位	国立循環器病研究センター	大阪大学医学部附属病院	大阪大学医学部附属病院	大阪刀根山医療センター	国立循環器病研究センター	市立豊中病院	大阪大学医学部附属病院	大阪大学医学部附属病院	大阪大学医学部附属病院	大阪大学医学部附属病院	市立豊中病院	大阪大学医学部附属病院	市立池田病院	大阪大学医学部附属病院	市立豊中病院	済生会千里病院	大阪大学医学部附属病院	大阪大学医学部附属病院
2位	大阪大学医学部附属病院	吹田徳洲会病院	市立吹田市民病院	済生会吹田病院	大阪大学医学部附属病院	大阪大学医学部附属病院	市立吹田市民病院	箕面市立病院	市立池田病院	市立豊中病院	大阪大学医学部附属病院	市立豊中病院	市立豊中病院	国立循環器病研究センター	箕面市立病院	関西メディカル病院	関西メディカル病院	済生会吹田病院
3位	市立豊中病院	箕面市立病院	市立豊中病院	市立豊中病院	済生会千里病院	市立池田病院	市立豊中病院	市立豊中病院	市立吹田市民病院	国立循環器病研究センター	市立池田病院	済生会吹田病院	大阪大学医学部附属病院	済生会吹田病院	市立吹田市民病院	吹田徳洲会病院	井上病院	市立吹田市民病院



厚生労働省：令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」より

(1). 豊中市の医療体制の概要

豊能医療圏における主要診断群別DPC患者構成

※ 赤字は豊中市内の病院 * MDC（Major Diagnostic Category）：WHO（世界保健機関）が制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群 * DPC：急性期入院医療を対象とする診断群分類に基づく1日あたり包括払い制度

令和4年度	主要診断群（MDC）別：DPC患者数（人）																			割合
	神経系疾患	眼科系疾患	耳鼻咽喉科系疾患	呼吸器系疾患	循環器系疾患	消化器系疾患	筋骨格系疾患	皮膚の疾患	乳房の疾患	内分泌・代謝疾患	腎・尿路系疾患	女性生殖系疾患	血液・造血器疾患	新生児疾患	小児疾患	外傷・熱傷・中毒	精神疾患	その他	合計	
大阪大学医学部附属病院	1,437	2,158	794	1,107	1,753	3,027	1,150	334	755	797	1,230	1,739	515	1,043	0	406	68	351	18,664	19.3%
国立循環器病研究センター	3,011	0	147	763	6,262	43	83	0	0	320	162	191	20	827	0	126	0	100	12,055	12.5%
市立豊中病院 ※	849	308	397	1,152	1,061	3,198	428	177	119	342	1,316	857	527	156	99	544	0	140	11,670	12.1%
市立池田病院	142	626	277	893	491	2,363	375	142	211	307	1,044	579	552	141	12	199	0	89	8,443	8.7%
済生会吹田病院	175	288	274	1,180	465	2,332	265	137	88	212	771	608	90	350	30	337	0	203	7,805	8.1%
市立吹田市民病院	254	600	433	1,009	235	2,033	558	117	147	203	652	338	501	109	58	340	0	163	7,750	8.0%
済生会千里病院	376	0	75	495	1,180	1,618	263	19	116	122	581	439	28	0	0	1,050	0	68	6,430	6.6%
吹田徳洲会病院	587	962	86	503	464	862	119	54	32	146	569	325	64	110	0	668	0	87	5,638	5.8%
箕面市立病院	90	662	133	624	155	1,451	108	218	71	196	743	402	206	89	71	251	0	140	5,610	5.8%
関西メディカル病院 ※	126	169	266	481	303	506	214	55	142	135	398	0	38	0	0	909	20	159	3,921	4.1%
大阪刀根山医療センター ※	13	0	87	1,304	17	0	134	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	10	1,620	1.7%
豊中敬仁会病院 ※	0	0	0	19	0	1,095	0	0	0	0	103	0	11	0	0	0	0	0	1,228	1.3%
大阪脳神経外科病院 ※	691	0	22	0	0	0	111	0	0	0	0	0	0	0	0	220	0	10	1,054	1.1%
その他9病院	145	15	112	527	372	644	539	48	0	274	517	0	10	0	0	1,591	14	24	4,832	5.0%
合計	7,896	5,788	3,103	10,057	12,758	19,172	4,347	1,301	1,681	3,054	8,086	5,478	2,562	2,825	270	6,696	102	1,544	96,720	100.0%

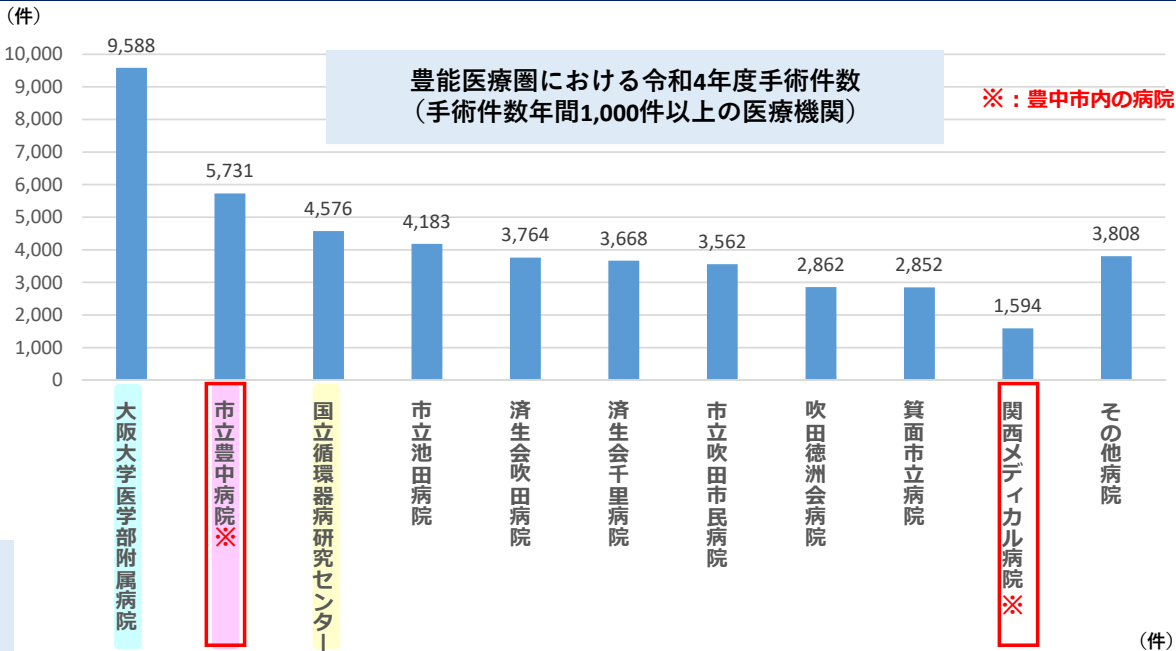
⇒上位3番目まで

厚生労働省：令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」より

(1). 豊中市の医療体制の概要

豊能医療圏における手術の状況

- 豊能医療圏における医療機関別手術件数（令和4年度）
 - ◆ 1位：大阪大学医学部附属病院（9,588件）
 - ◆ 2位：市立豊中病院（5,731件）
 - ◆ 3位：国立循環器病研究センター（4,576件）
- 市内で手術件数年間1,000件以上の医療機関は2病院
- 市立豊中病院は年間5,000件以上の手術を行い、市立病院、豊能医療圏の公立病院において、最多である疾患別では急性期入院診療と同様に「消化器系疾患」「腎・尿路系疾患」が豊能医療圏で1位である



豊能医療圏における主要診断群（MDC*）別手術件数上位の医療機関

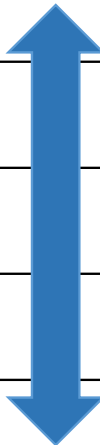
* MDC（Major Diagnostic Category）：WHO（世界保健機関）が制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群

MDC	神経系疾患	眼科系疾患	耳鼻咽喉科系疾患	呼吸器系疾患	循環器系疾患	消化器系疾患	筋骨格系疾患	皮膚の疾患	乳房の疾患	内分泌・代謝疾患	腎・尿路系疾患	女性生殖系疾患	血液・造血器疾患	新生児疾患	外傷・熱傷・中毒
1位	国立循環器病研究センター 513	大阪大学医学部附属病院 2,068	大阪大学医学部附属病院 503	大阪大学医学部附属病院 367	国立循環器病研究センター 3,377	市立豊中病院 2,075	大阪大学医学部附属病院 642	大阪大学医学部附属病院 97	大阪大学医学部附属病院 474	大阪大学医学部附属病院 205	市立豊中病院 551	大阪大学医学部附属病院 791	大阪大学医学部附属病院 114	国立循環器病研究センター 293	済生会千里病院 709
2位	大阪大学医学部附属病院 375	吹田徳洲会病院 962	市立豊中病院 230	国立循環器病研究センター 217	大阪大学医学部附属病院 1,092	大阪大学医学部附属病院 1,679	市立吹田市民病院 443	市立豊中病院 88	市立池田病院 165	済生会吹田病院 38	大阪大学医学部附属病院 482	市立豊中病院 647	市立豊中病院 80	大阪大学医学部附属病院 277	関西メディカル病院 561
3位	市立豊中病院 148	箕面市立病院 662	市立吹田市民病院 189	済生会吹田病院 153	済生会千里病院 701	済生会吹田病院 1,450	市立豊中病院 345	箕面市立病院 84	関西メディカル病院 127	市立池田病院 34	市立池田病院 482	済生会吹田病院 425	市立池田病院 76	済生会吹田病院 67	市立豊中病院 444

厚生労働省：令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」より

(1). 豊中市の医療体制の概要

医療機能の分化・強化と連携

一般病院の主な役割	特定機能病院	重症・中等症 患者を支える 急性期病院	急性期 ケアミックス型 病院	軽症・中等症 患者を支える 急性期病院	後方支援 ケアミックス型 病院	回復期 リハビリ 病院	慢性期病院
市内の一般病院 (特定機能病院は豊能二次医療圏)	豊能二次医療圏 ・大阪大学医学部 附属病院 ・国立循環器病研 究センター	・市立豊中病院	・大阪刀根山医療 センター ・関西メディカル 病院 ・大阪脳神経外科 病院 ・豊中若葉会病院	・上田病院 ・豊中敬仁会病院 ・千里山病院 ・小西病院	・千里中央病院 ・豊中平成病院	・関西リハビリ テーション病院	・坂本病院 ・坂本病院分院 ・平成記念病院 ・曽根病院 ・真正会病院
高度医療の提供及び研修、高度医療 技術開発等							
重症患者の受入機能（脳卒中、急性 心筋梗塞等の高度専門的治療）							
地域診療拠点機能 （がん、小児、周産期等）							
軽症・中等症患者の救急受入機能 （肺炎、尿路感染症、骨折等）							
サブアキュート機能 （在宅医療の後方支援機能）							
ポストアキュート機能（在宅復帰に 向けたリハビリ患者等の受入）							
長期入院が必要な患者の受入							

(1). 豊中市の医療体制の概要

豊中市の医療体制の特色

豊中市

- * 5 疾病（がん、脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患）及び 5 事業（救急医療、感染症、周産期医療、小児医療、在宅医療）に対応する医療機能
- * 一般病床における 4 つの医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）を持つ 17 病院と精神科病院 2 病院（機能分担と連携による切れ目のない医療体制）
- * 人口当たりの一般診療所数が多い（大阪市と堺市を除く府内一般診療所数は第一位）
- * 豊中モデルによる持続可能な質の高い在宅医療体制（市と医師会が連携の拠点）

豊能二次医療圏

高度先端医療が必要な場合



特定機能病院における診療

* 大阪大学医学部附属病院

* 国立循環器病研究センター

《 豊中市の医療体制の特色 》

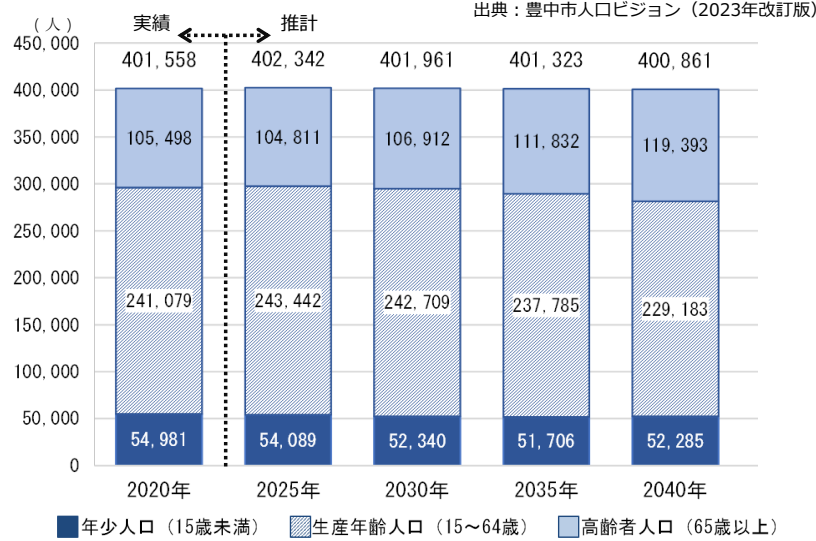
- ◎ 豊富な医療資源と医療へのアクセスが良いことに加え、患者の状態に応じて高度医療から在宅医療まで様々な診療の選択肢を身近に提供することができる

(2). 豊中市の人口構造の変化

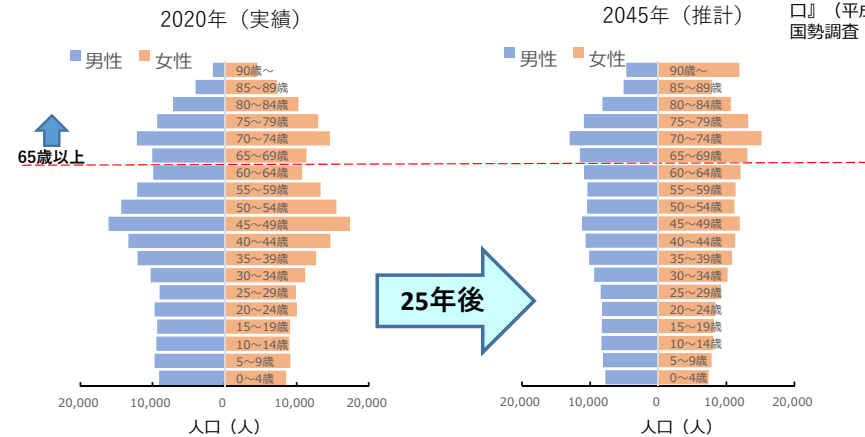
人口推移

- 本市では、新型コロナウイルス感染症拡大前の純移動率（転入超過による社会増）や出生率を維持し、将来の人口展望として令和22年（2040年）において人口40万人の維持をめざしている。
- 年齢3区分別では、年少人口（15歳未満）は横ばい傾向、生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向となっているのに対し、高齢者人口（65歳以上）は増加しており、構成比においても、令和2年（2020年）の26.3%から令和22年（2040年）には29.8%まで上昇すると見込まれている。

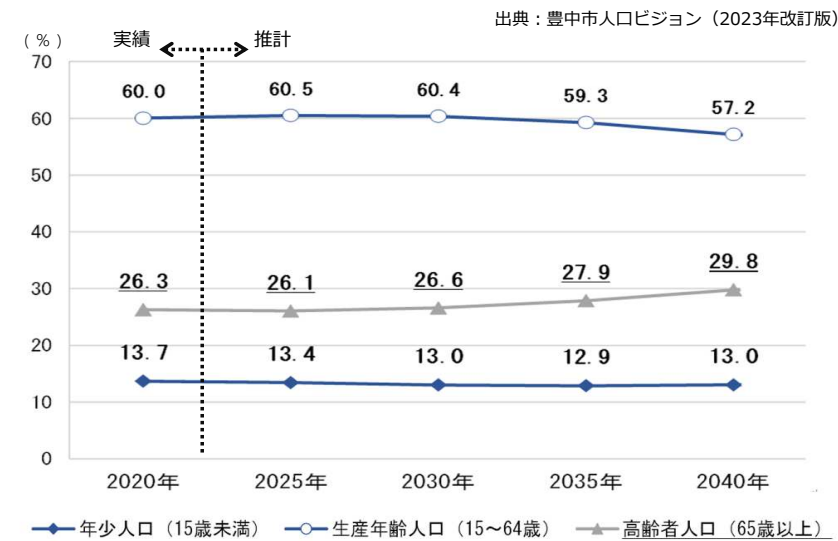
■ 年齢3区分別人口数の推移



■ 人口ピラミッド



■ 年齢3区分別構成比の推移



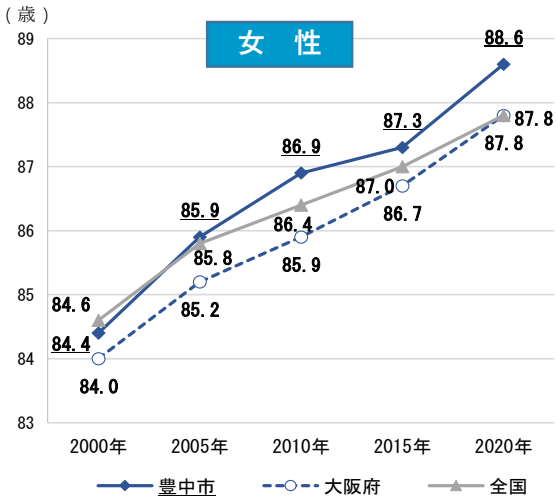
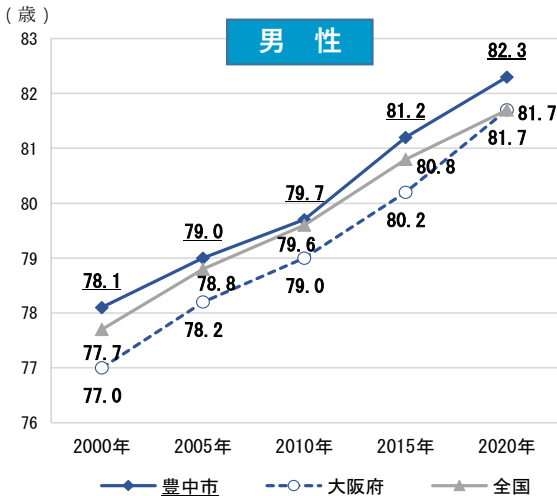
(2). 豊中市の人口構造の変化

平均寿命・健康寿命

- 平均寿命（0歳からの平均余命）は、年々延伸しており、令和2年（2020年）には男性が82.3歳、女性が88.6歳となっている。また、全国・大阪府の平均寿命と比較すると、男性・女性ともに高い推移となっている。
- 健康寿命は、年々延伸しており、令和2年（2020年）には男性が80.4歳、女性が84.6歳となっている。また、全国・大阪府の健康寿命と比較すると、男性・女性ともに高い推移となっているものの、平均寿命との差（健康でない期間）も長い。

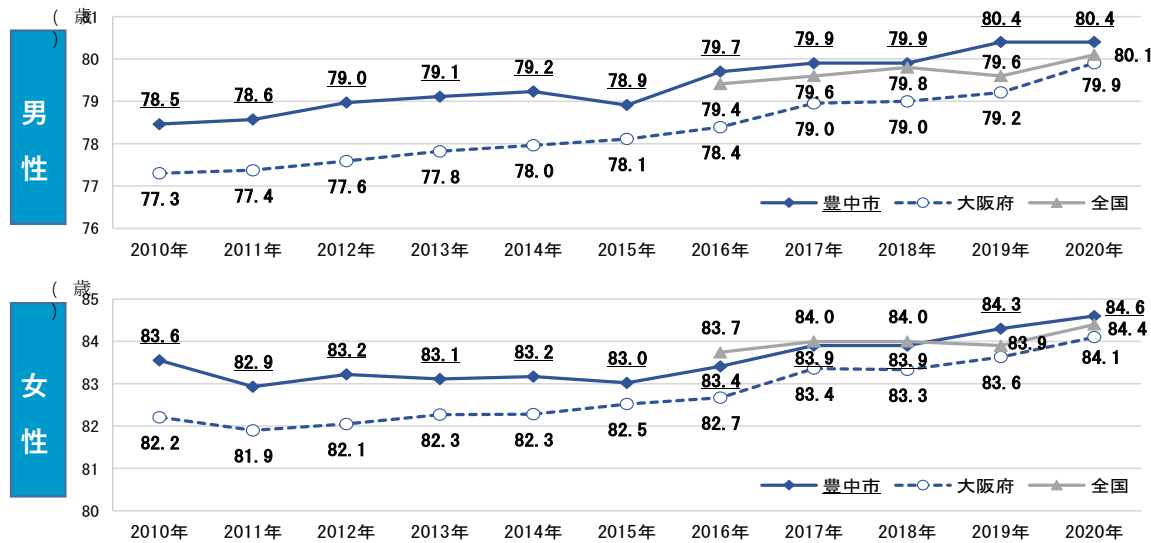
■ 平均寿命の推移

出典：2000年～2015年：厚生労働省「市区町村別生命表の概況」、2020年：国保データベース（KDB）



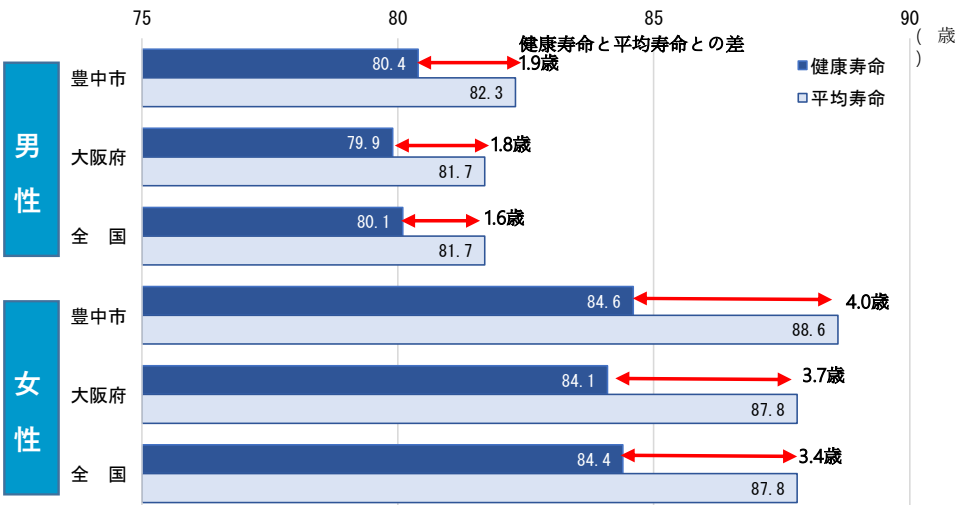
■ 健康寿命の推移

出典：大阪府資料



■ 健康寿命の比較

出典：国保データベース（KDB）

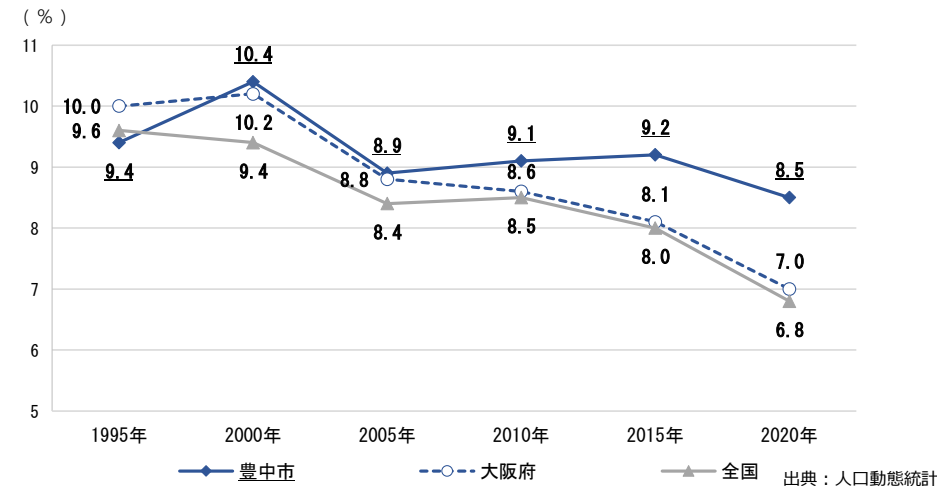


(2). 豊中市の人口構造の変化

世帯数／出生の状況

- 令和2年（2020年）の世帯数は176,759世帯で、平成12年（2000年）以降、増加傾向となっている。また、世帯構成の内訳をみると、令和2年（2020年）では核家族世帯が108,061世帯で61.1%、単独世帯が61,489世帯で34.8%を占めており、平成12年（2000年）以降、単独世帯が年々増加傾向となっている。
- 出生率（人口千対）は、令和2年（2020年）では8.5となっており、全国（6.8）、大阪府（7.0）と比べると高い数値で推移しているものの、平成12年（2000年）以降、下降傾向となっている。

■出生率（人口千対）の推移



■世帯数

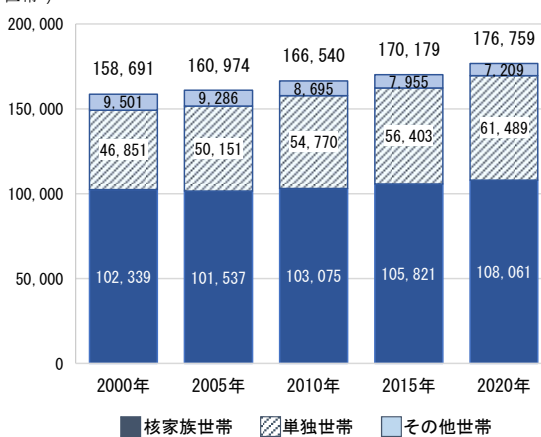
(世帯)

年度		2010	2015	2020
豊中市	総世帯数	166,677	170,325	176,967
	高齢者単身世帯(割合)	18,993 (11.4%)	22,849 (13.4%)	25,642 (14.5%)
	高齢者夫婦のみ世帯(割合)	18,035 (10.8%)	20,386 (12.0%)	20,991 (11.9%)
大阪府	総世帯数	3,832,386	3,923,887	4,135,879
	高齢者単身世帯(割合)	432,816 (11.3%)	520,292 (13.3%)	567,399 (13.7%)
	高齢者夫婦のみ世帯(割合)	387,712 (10.1%)	439,619 (11.2%)	452,935 (11.0%)

出典：国勢調査 2020年度 ※高齢者夫婦のみ世帯数は、当該調査項目の「夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみ世帯」の数を使用

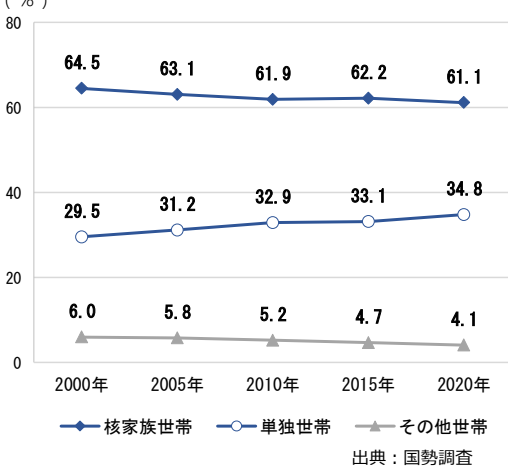
■世帯数の推移

(世帯)



■世帯構成比の推移

(%)

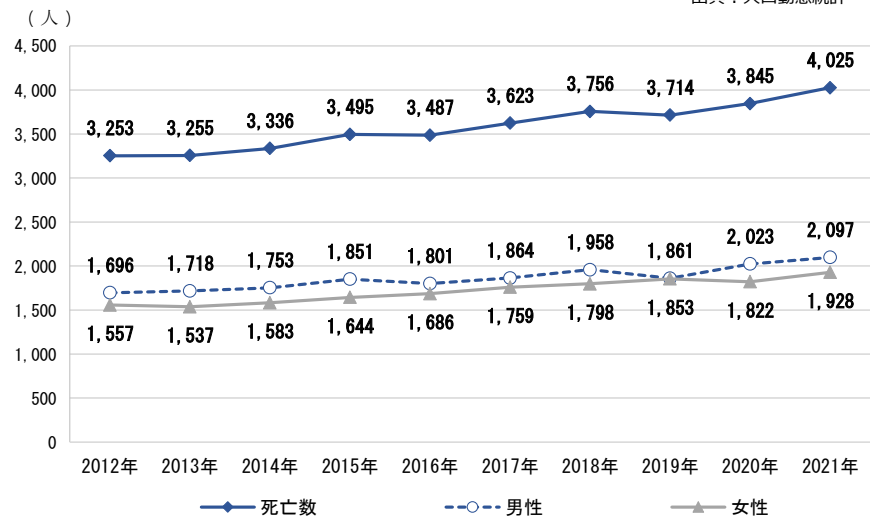


(2). 豊中市の人口構造の変化

死亡の状況

- 令和3年（2021年）の死亡数は4,025人（男性：2,097人、女性：1,928人）で、平成24年（2012年）以降、増加傾向となっている。
- 平成28年度（2016年度）から令和3年度（2021年度）までの6年間で自宅死亡者数は年々増え、その割合は府平均に比べ高くなっている。

■死亡数の推移



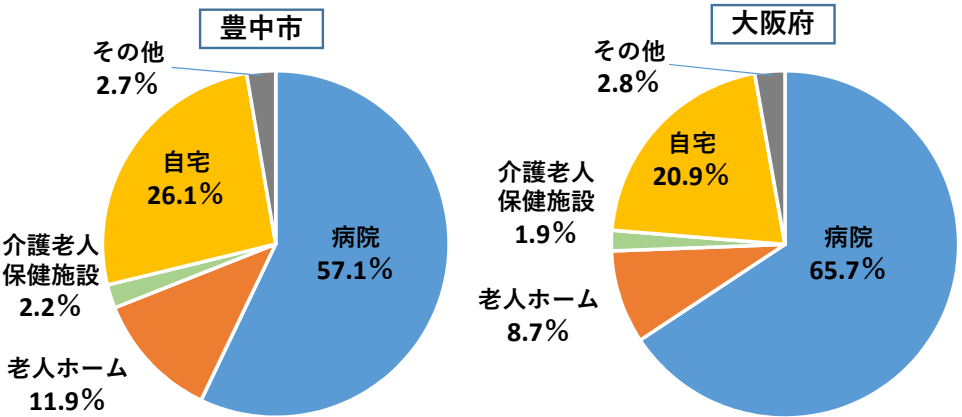
■死亡者数と死亡場所の推移

(人)

	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
豊中市	病院(割合)	2,341 (67.1%)	2,410 (66.5%)	2,446 (65.1%)	2,429 (65.4%)	2,332 (60.7%)	2,299 (57.1%)
	老人ホーム(割合)	316 (9.1%)	304 (8.4%)	338 (9.0%)	387 (10.4%)	414 (10.8%)	477 (11.9%)
	介護老人保健施設(割合)	51 (1.5%)	78 (2.2%)	67 (1.8%)	74 (2.0%)	91 (2.4%)	88 (2.2%)
	自宅(割合)	668 (19.2%)	695 (19.2%)	743 (19.8%)	713 (19.2%)	884 (23.0%)	1,049 (26.1%)
大阪府	病院(割合)	62,939 (74.6%)	64,072 (73.6%)	64,384 (71.9%)	65,146 (72.1%)	62,896 (68.6%)	63,929 (65.7%)
	老人ホーム(割合)	4,961 (5.9%)	5,405 (6.2%)	6,165 (6.9%)	6,505 (7.2%)	7,266 (7.9%)	8,506 (8.7%)
	介護老人保健施設(割合)	1,138 (1.3%)	1,342 (1.5%)	1,485 (1.7%)	1,528 (1.7%)	1,632 (1.8%)	1,880 (1.9%)
	自宅(割合)	12,971 (15.4%)	13,867 (15.9%)	14,957 (16.7%)	14,842 (16.4%)	17,441 (19.0%)	20,308 (20.9%)

出典：人口動態調査 保管統計表都道府県編（報告書非掲載表）「死亡・乳児死亡」
「死亡数、都道府県・市区町村・死亡の場所別」

■死亡割合（2021年）



(3). 豊中市の5疾病の状況

1

がん

- 市立豊中病院は、国指定の「地域がん診療連携拠点病院」および「がんゲノム医療連携病院」に指定されており、ゲノム医療や集学的がん治療等の高度な医療を提供している。
- 大阪刀根山医療センターは、肺がんについて府指定の「がん診療拠点病院」に指定されている。

◎ 5大がんの医療提供体制

医療機関名		肺	胃	大腸	肝	乳腺	緩和ケア チーム
がん診療拠点病院							
市立豊中病院 (国指定)	手術	○	○	○	○	○	○
	化学療法	○	○	○	○	○	
	放射線療法	○	○		○	○	
大阪刀根山医療 センター (府指定)	手術	○					○
	化学療法	○					
	放射線療法	○					
がん診療拠点病院以外							
関西メディカル病院	手術		○	○		○	
	化学療法		○	○		○	
	放射線療法						
上田病院	手術		○	○		○	
	化学療法	○	○	○	○	○	
	放射線療法						
豊中敬仁会病院	手術		○	○	○	○	
	化学療法		○	○	○		
	放射線療法						

出典：豊能二次医療圏 医療機能表 ～医療提供体制〔病院〕（2023年6月30日現在）～

◎ 豊中市における悪性新生物の将来推計患者数（対10万人あたり）

《入院患者数》

2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
406人	409人	413人	414人	421人	428人

《外来患者数》

2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
619人	628人	633人	634人	642人	650人

出典：市立豊中病院運営計画 令和5年度～令和9年度
（厚生労働省「患者調査」より推計）

(3). 豊中市の5疾病の状況

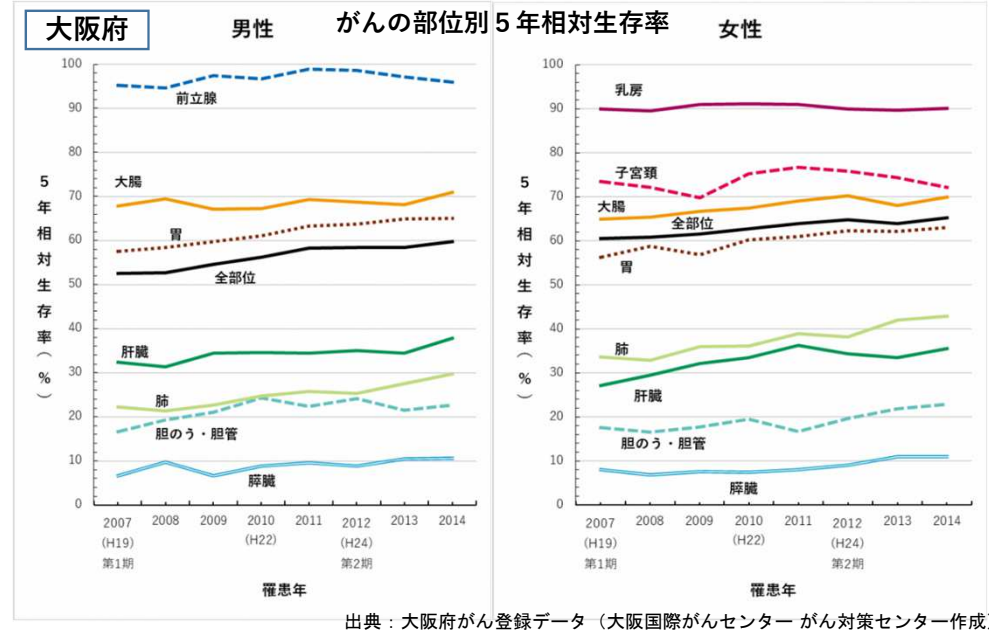
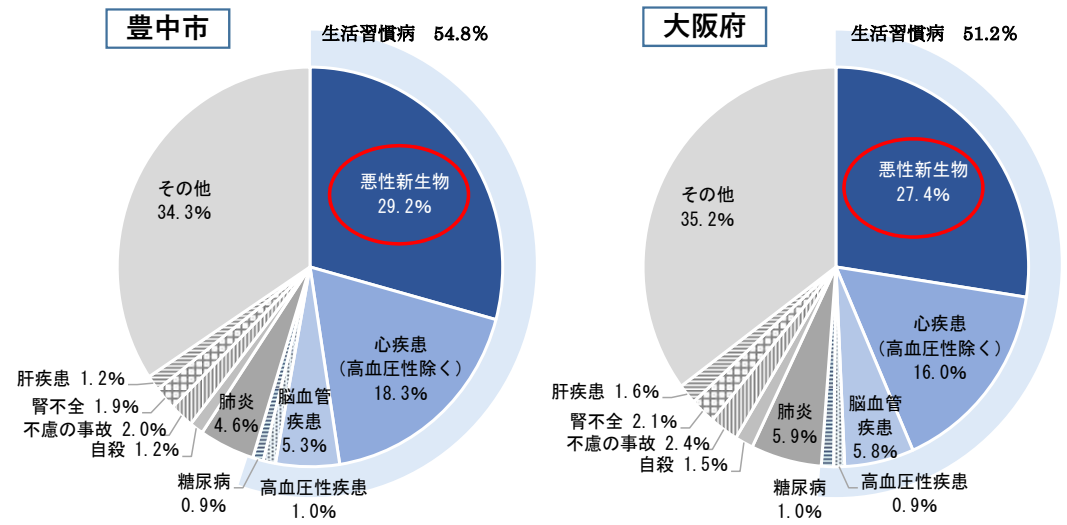
1

がん

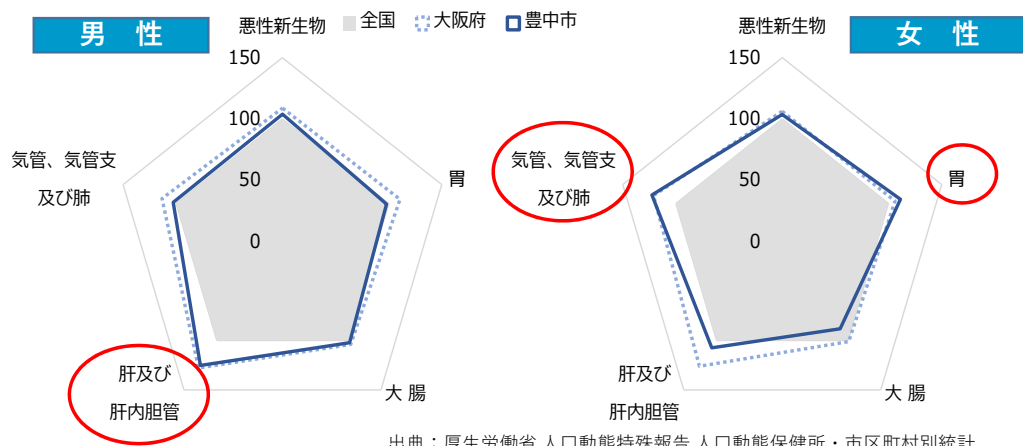
* 相対生存率: 患者と同じ性・年齢・出生年の日本人が示す期待生存率を推計し、この値を基準に患者の生存率を比(パーセント)で表現したもの。例えば5年相対生存率が70%であれば、一般の日本人より5年後の生存率が30%低いことを意味する。

- 令和3年(2021年)の死因別割合では、悪性新生物(がん)が29.2%を占めている。(生活習慣病全体54.8%)
- 大阪府におけるがんの5年相対生存率*は、多くの部位で向上している。
- 悪性新生物(がん)の部位別の標準化死亡比(SMR)では、男性では全国に比べて「肝及び肝内胆管」が高く、女性では全国と比べて「胃」および「気管、気管支及び肺」が高くなっている。

■主要死因(2021年) 出典: 人口動態統計



■悪性新生物(がん)の部位別の男女別標準化死亡比(SMR)〔2013~2017年〕



(3). 豊中市の5疾病の状況

1

がん

- 豊中市内の医療機関
- ◎ 市外の医療機関

かかりつけ医

《診療所》

日常の診察、検査、投薬
がん治療、緊急時対応 等

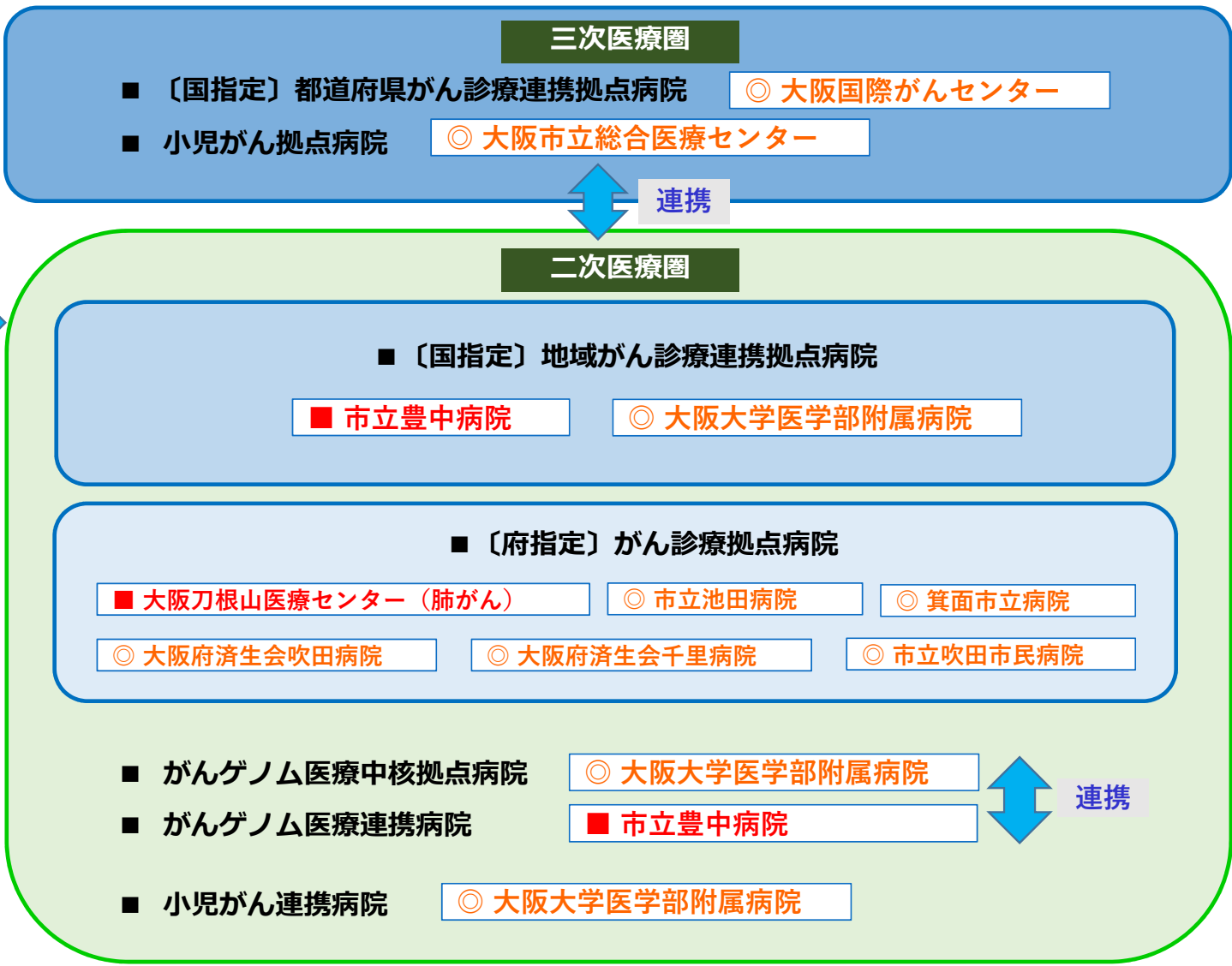
《一般病院》

日常の診察、検査、投薬
がん治療、緊急時対応 等

(かかりつけ歯科医)

(かかりつけ薬局)

(訪問看護ステーション) 等



(3). 豊中市の5疾病の状況

1

がん

患者の受療動向
(令和3年度 国保・後期高齢者レセプト)

【外来】
豊能二次医療圏

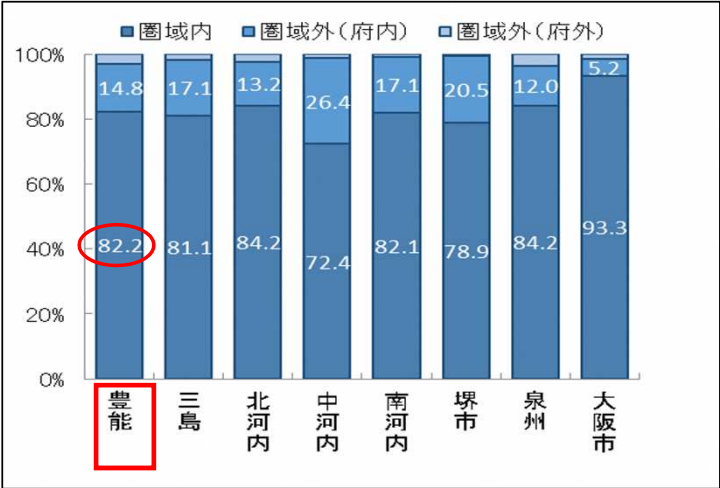
* 外来患者の自己完結率は82.2%
* 流入が流出を上回っている

【入院】
豊能二次医療圏

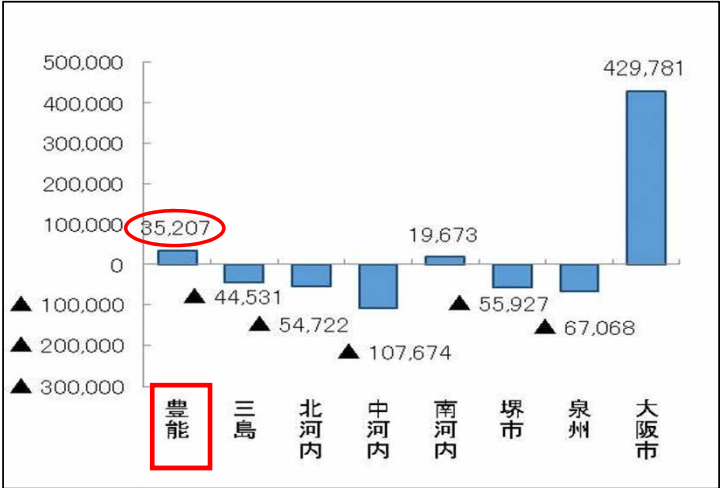
* 入院患者の自己完結率は71.3%
* 流入が流出を上回っている

出典：厚生労働省「データブック」

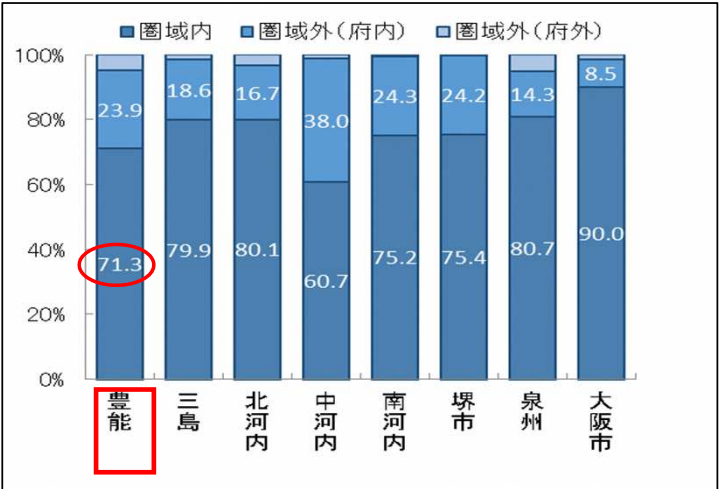
◎ 外来患者の受診先医療機関の所在地（割合）



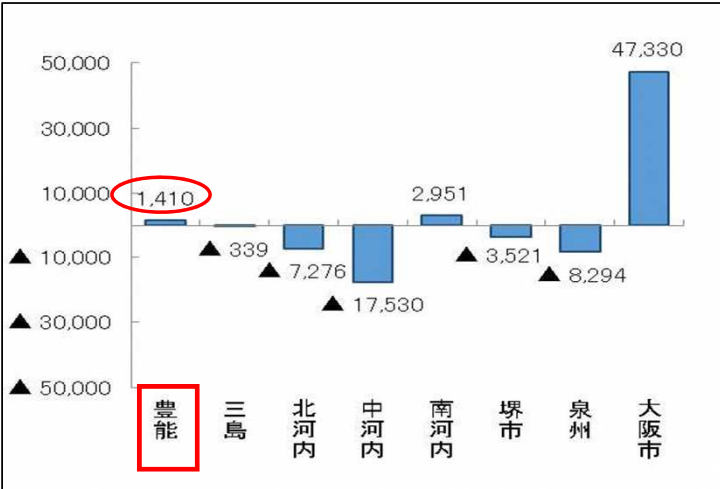
◎ 圏域における外来患者の「流入－流出」(件数)



◎ 患者の入院先医療機関の所在地（割合）



◎ 圏域における入院患者の「流入－流出」(件数)



(3). 豊中市の5疾病の状況

2

脳卒中等の脳血管疾患

- 脳卒中等の脳血管疾患の急性期治療を行う病院は市立豊中病院、関西メディカル病院、大阪脳神経外科病院の3施設であり、脳動脈瘤根治術や脳血管内手術、t-PA静脈療法などの医療を提供している。
- 「豊能医療圏脳卒中地域連携パス」により急性期から回復期、維持期への円滑な医療連携体制が整備されている。

◎ 脳卒中等の脳血管疾患 医療（急性期治療）医療提供体制

医療機関名	脳動脈瘤根治術	脳血管内手術	頸動脈ステント留置術	脳動脈瘤コイル塞栓術	t-PA静注療法	頭蓋内血腫除去術	経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術	経皮的脳血栓回収術	頭部動脈血栓内膜剝離術
市立豊中病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○
関西メディカル病院	○	○	○	○	○	○	○		○
大阪脳神経外科病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○

出典：豊能二次医療圏 医療機能表 ～医療提供体制〔病院〕（2023年6月30日現在）～

◎ 豊中市における脳血管疾患の将来推計患者数（対10万人あたり）

《入院患者数》

2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
448人	470人	472人	466人	473人	490人

《外来患者数》

2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
718人	721人	735人	743人	754人	757人

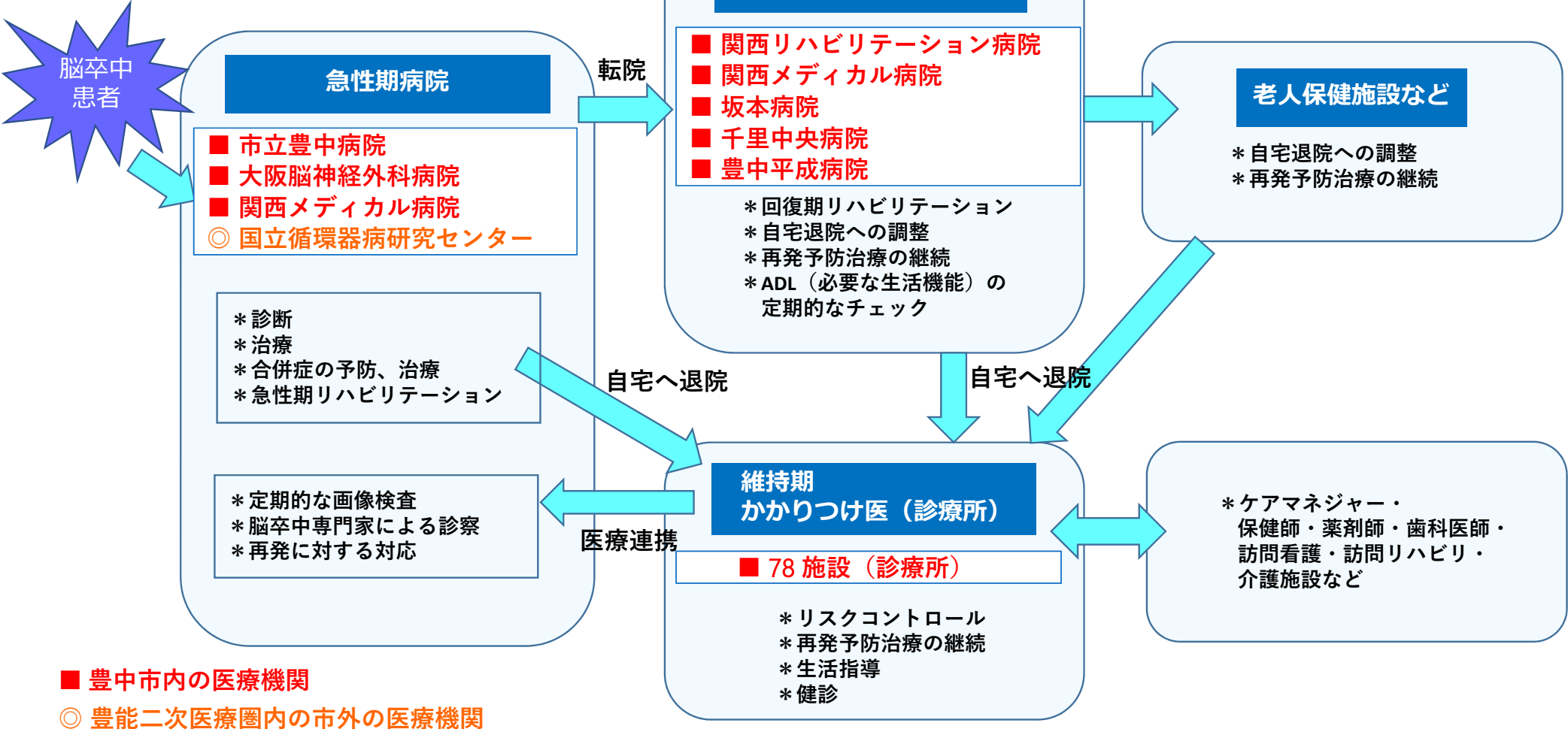
出典：市立豊中病院運営計画 令和5年度～令和9年度
（厚生労働省「患者調査」より推計）

(3). 豊中市の5疾病の状況

2

脳卒中等の脳血管疾患

豊能医療圏 脳卒中地域連携パス



(3). 豊中市の5疾病の状況

2

脳卒中等の脳血管疾患

患者の受療動向
(令和3年度 国保・後期高齢者レセプト)

【外来】
豊能二次医療圏

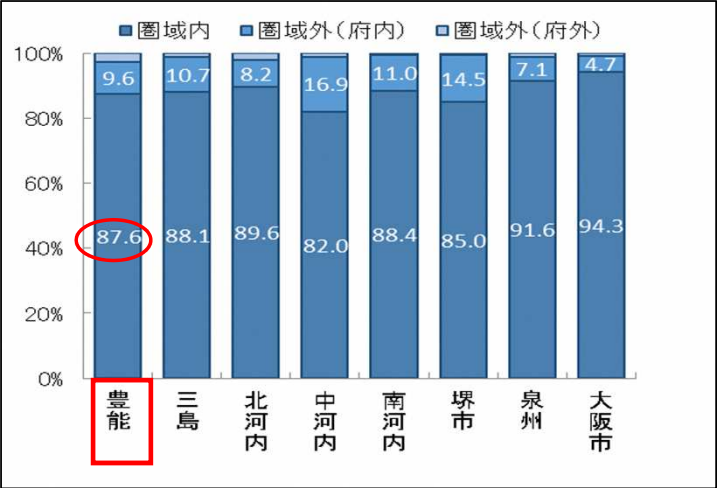
* 外来患者の自己完結率は87.6%
* 流入が流出を上回っている

【入院】
豊能二次医療圏

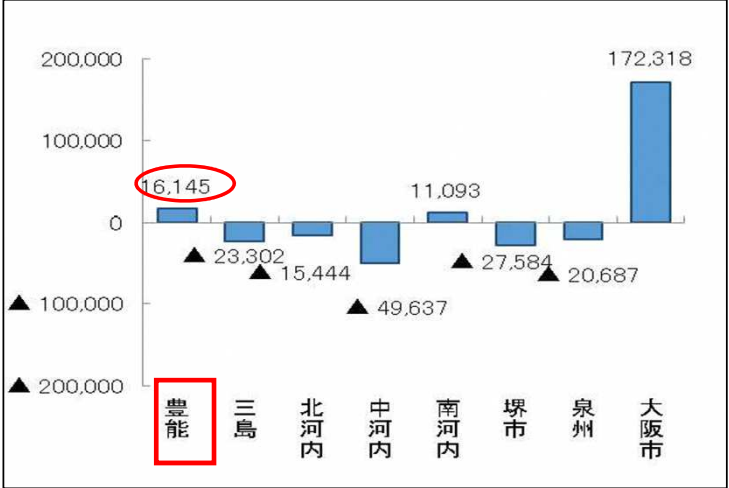
* 入院患者の自己完結率は76.3%
* 流入が流出を上回っている

出典：厚生労働省「データブック」

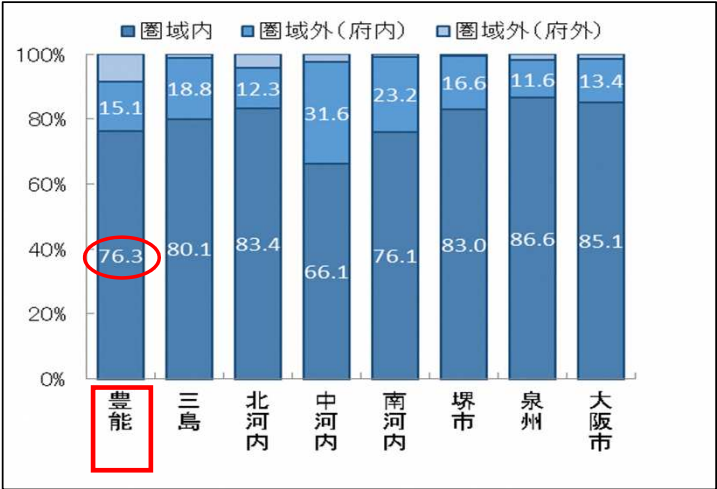
◎ 外来患者の受診先医療機関の所在地（割合）



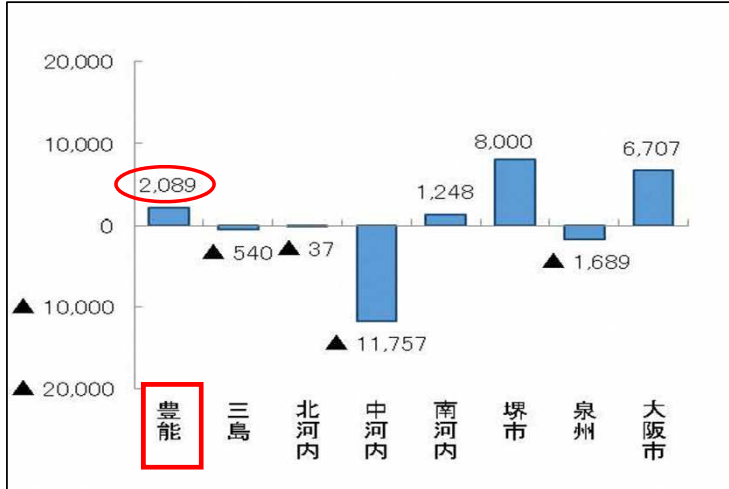
◎ 圏域における外来患者の「流入－流出」(件数)



◎ 患者の入院先医療機関の所在地（割合）



◎ 圏域における入院患者の「流入－流出」(件数)



(3). 豊中市の5疾病の状況

3 心筋梗塞等の心血管疾患

- 心血管疾患の急性期治療を行う病院は市立豊中病院と関西メディカル病院の2施設であり、経皮的冠動脈形成術、冠動脈ステント留置術などの医療を提供している。
- 心血管疾患リハビリテーションは、市立豊中病院、千里山病院、関西リハビリテーション病院の3施設がある。

◎ 心血管疾患の医療提供体制

医療機関名	冠動脈バイパス術	経皮的冠動脈形成術 PTCA	冠動脈ステント留置術	心臓カテーテル法による 血管内超音波検査	ペースメーカー移植術	リハビリテーション 心血管疾患
市立豊中病院		○	○	○	○	○
関西メディカル病院		○	○	○	○	
千里山病院						○
関西リハビリテーション病院						○

出典：豊能二次医療圏 医療機能表 ～医療提供体制〔病院〕（2023年6月30日現在）～

◎ 豊中市における虚血性心疾患の将来推計患者数（対10万人あたり）

《入院患者数》

2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
46人	48人	48人	48人	49人	50人

《外来患者数》

2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
148人	157人	159人	158人	160人	165人

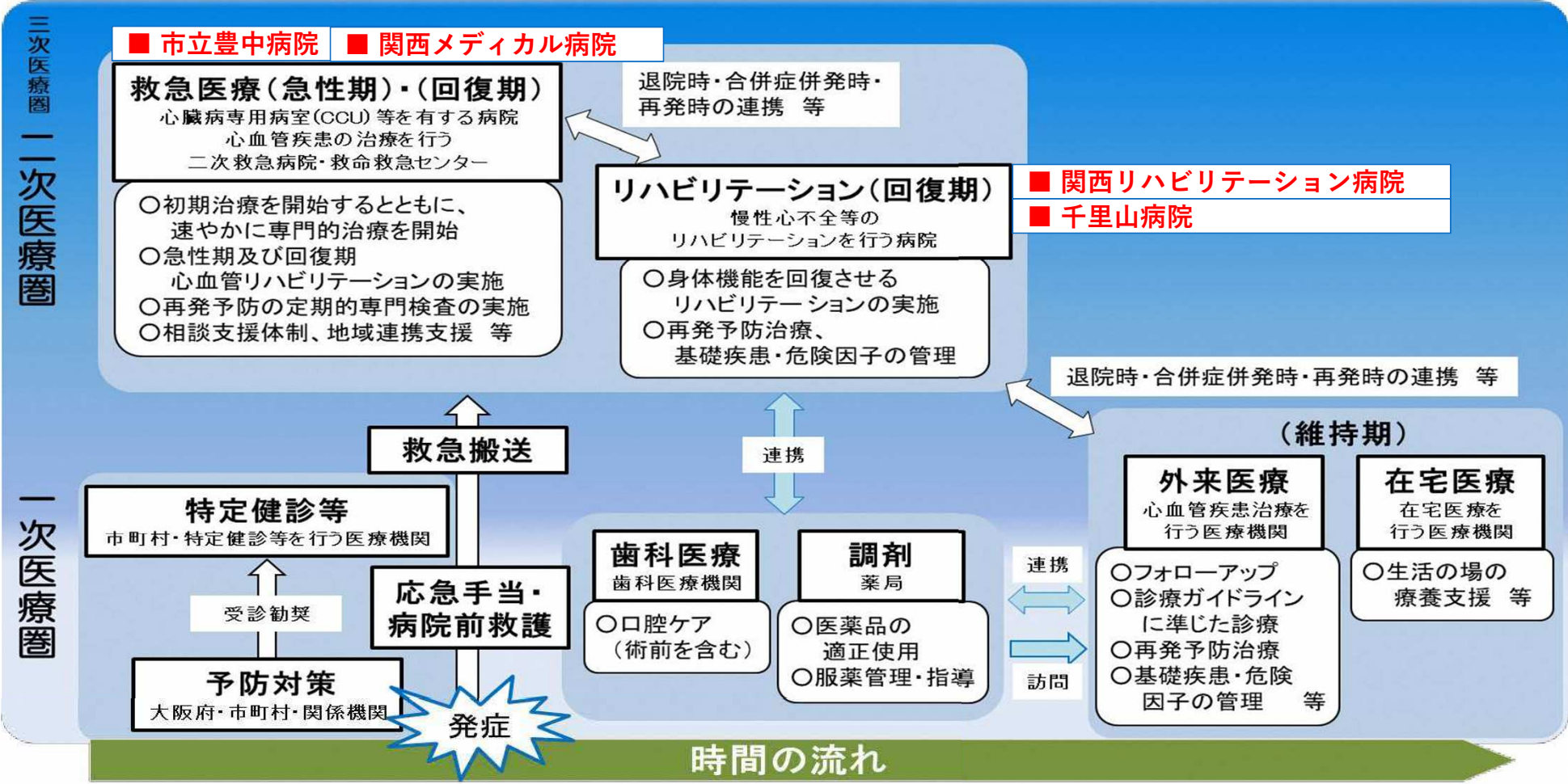
出典：市立豊中病院運営計画 令和5年度～令和9年度
（厚生労働省「患者調査」より推計）

(3). 豊中市の5疾病の状況

3

心筋梗塞等の心血管疾患

心血管疾患の医療体制



(3). 豊中市の5疾病の状況

3

心筋梗塞等の心血管疾患

患者の受療動向
(令和3年度 国保・後期高齢者レセプト)

【外来】
豊能二次医療圏

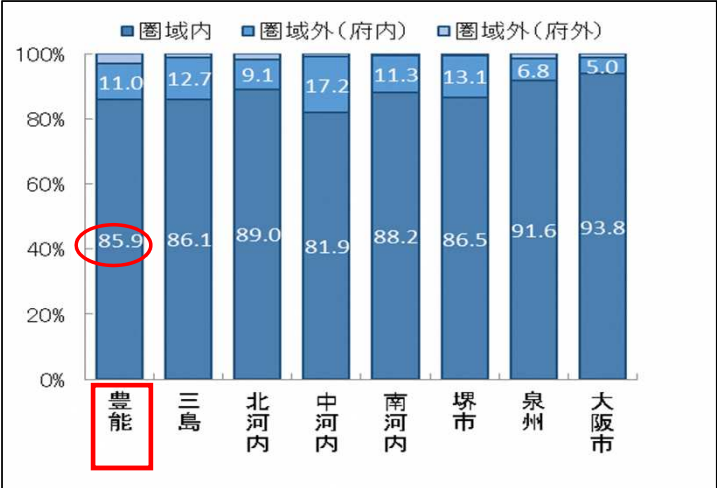
* 外来患者の自己完結率は85.9%
* 流入が流出を上回っている

【入院】
豊能二次医療圏

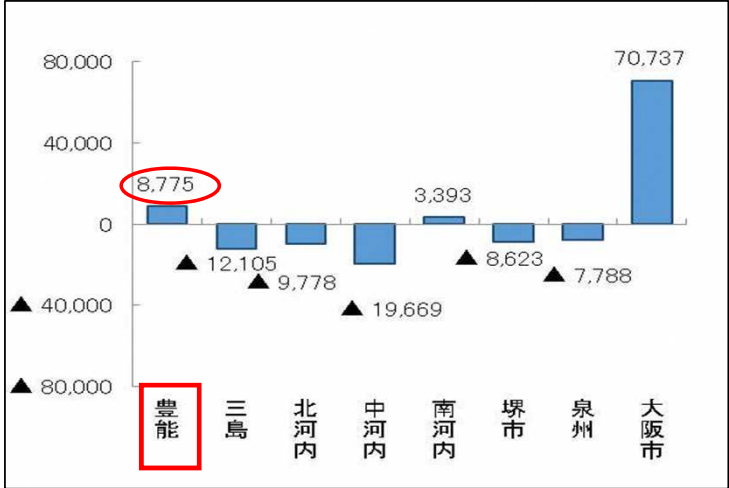
* 入院患者の自己完結率は72.2%
* 流入が流出を上回っている

出典：厚生労働省「データブック」

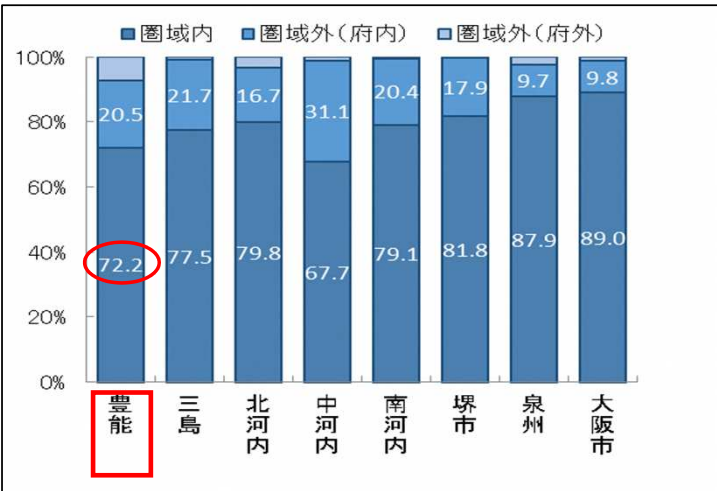
◎ 外来患者の受診先医療機関の所在地（割合）



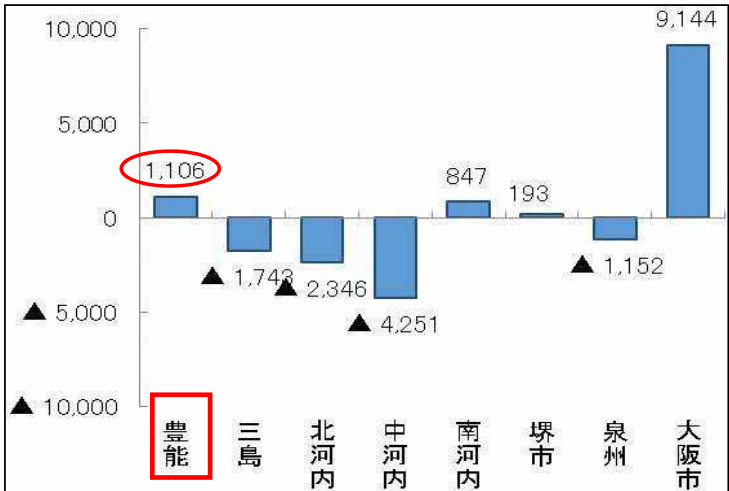
◎ 圏域における外来患者の「流入－流出」(件数)



◎ 患者の入院先医療機関の所在地（割合）



◎ 圏域における入院患者の「流入－流出」(件数)



(3). 豊中市の5疾病の状況

4

糖尿病

- 糖尿病の治療を行う病院 13 施設のうち、すべての病院においてインスリン療法が可能である。
- 合併症治療については、血液透析の可能な病院が 5 施設、網膜光凝固術の可能な病院が市立豊中病院と関西メディカル病院の 2 施設がある。

◎ 糖尿病の医療提供体制

医療機関名	インスリン療法	血液透析	網膜光凝固術	医療機関名	インスリン療法	血液透析	網膜光凝固術
市立豊中病院	○	○	○	豊中若葉会病院	○	○	
大阪刀根山医療センター	○			豊中平成病院	○		
関西メディカル病院	○	○	○	平成記念病院	○		
上田病院	○			曽根病院	○	○	
豊中敬仁会病院	○	○		真正会病院	○		
千里山病院	○			さわ病院	○		
小西病院	○						

出典：豊能二次医療圏 医療機能表 ～医療提供体制〔病院〕（2023年6月30日現在）～

◎ 豊中市における糖尿病の将来推計患者数（対10万人あたり）

《入院患者数》

2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
67人	69人	69人	68人	69人	71人

《外来患者数》

2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
718人	721人	735人	743人	754人	757人

出典：市立豊中病院運営計画 令和5年度～令和9年度
（厚生労働省「患者調査」より推計）

(3). 豊中市の5疾病の状況

4

糖尿病

糖尿病性腎症重症化予防

医療機関名	糖尿病患者教育	運動療法・入院	食事療法・入院	運動療法・外来	食事療法・外来
市立豊中病院	○		○		○
大阪刀根山医療センター	○		○		○
関西メディカル病院	○				
上田病院	○				
豊中敬仁会病院	○		○		○
千里山病院	○				
小西病院	○				
豊中若葉会病院	○		○		○
豊中平成病院	○		○	○	○
平成記念病院	○	○	○	○	○
曽根病院	○		○		○
さわ病院					○

出典：豊能二次医療圏 医療機能表 ～医療提供体制〔病院〕（2023年6月30日現在）～

(豊中市) 糖尿病性腎症重症化予防事業				
事業の目的		糖尿病性腎症の重症化を予防し人工透析の導入を遅らせることで、糖尿病性腎症患者のQOL向上及び医療費の削減をめざす		
現在までの事業結果・考察		令和4年度（2022年度）から対象者抽出及び保健指導プログラムの実施を民間委託にて実施したことで、より多くの対象者への参加勧奨や効果的な保健指導の実施ができた。生活習慣病起因の透析患者が約71％を占めているため、本事業とともに慢性腎臓病対策の推進も検討していく。		
今後の事業計画	対象者	①Ⅱ型糖尿病治療中で70歳未満かつ検査結果が以下のア及びイ、またはア及びウに該当する者 ア. HbA1c（NGSP）6.5％以上、 または空腹時血糖126mg/dl（随時血糖200mg/dl）以上 イ. 尿たんぱく ±以上 ウ. 血清クレアチニン検査によるeGFR 30～60ml/分/1.73㎡未満 ②主治医が必要と認めた者		
	今後の実施方法（プロセス） ●は新規または拡充	事業対象者に対し、医師の指示書のもと民間委託事業者による保健指導プログラムを実施する。 ●慢性腎臓病対策の推進を検討		
	今後の実施体制（ストラクチャー）	豊中市医師会や医療機関、民間事業者と連携して慢性腎臓病対策を推進するとともに糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。		
今後の目標				
指 標	評価指標	計画策定時実績	目標値	
		令和4年度	中間評価（令和8年度）	最終評価（令和11年度）
アウトカム（成果）指標	新規透析導入者数	30人	減少	減少
アウトプット（実施量・率）指標	指導対象候補者の指導実施率	14.1％	17.0％	20.0％

出典：（豊中市）データヘルス計画

(3). 豊中市の5疾病の状況

4

糖尿病

患者の受療動向
(令和3年度 国保・後期高齢者レセプト)

【外来】
豊能二次医療圏

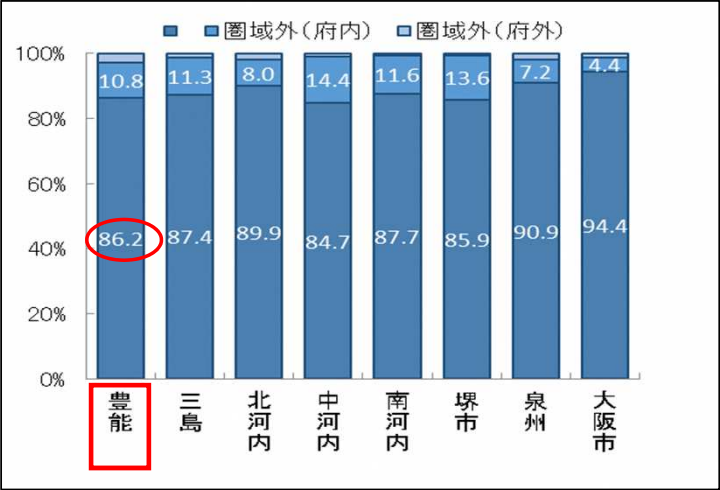
* 外来患者の自己完結率は86.2%
* 流入が流出を上回っている

【入院】
豊能二次医療圏

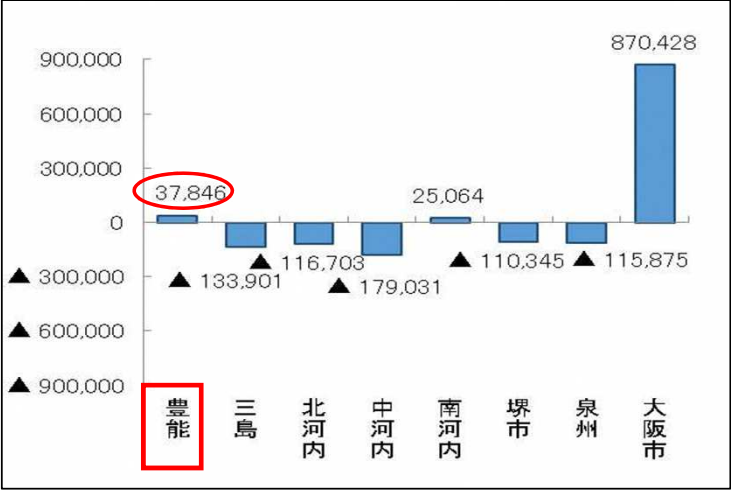
* 入院患者の自己完結率は72.9%
* 流入が流出を上回っている

出典：厚生労働省「データブック」

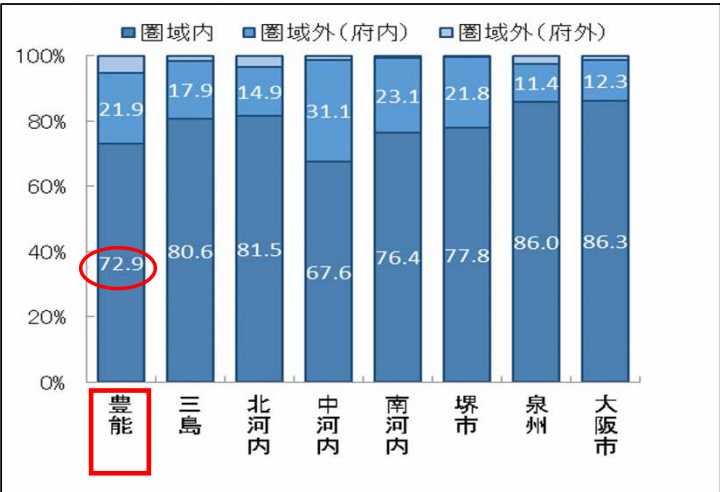
◎ 外来患者の受診先医療機関の所在地（割合）



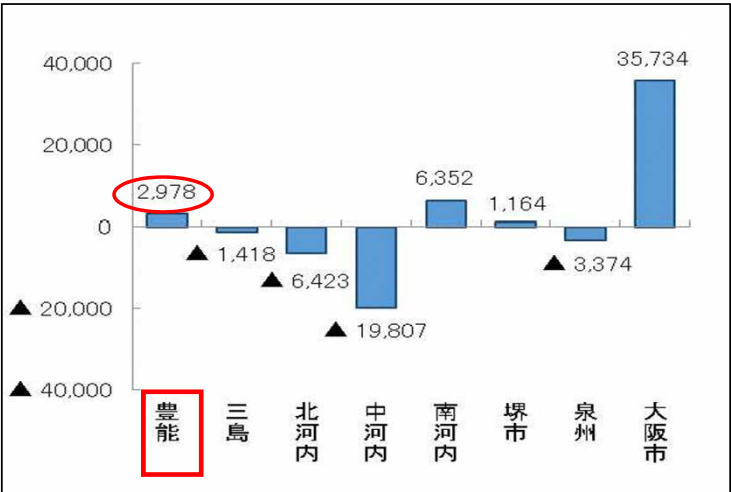
◎ 圏域における外来患者の「流入－流出」(件数)



◎ 患者の入院先医療機関の所在地（割合）



◎ 圏域における入院患者の「流入－流出」(件数)



(3). 豊中市の5疾病の状況

5 精神疾患

■ 小曽根病院とさわ病院が「都道府県連携拠点医療機関」（重症例の治療、専門プログラムの普及など）に指定、また「地域連携拠点医療機関」（専門性が高い治療など）に、病院が3施設、診療所が5施設が指定されており、それぞれ多様な精神疾患等に対応するために、疾患ごとに医療機関のもつ役割を明確化している。

◎ 都道府県連携拠点医療機関

医療機関名	統合失調症①	統合失調症②	認知症①	うつ	災害
小曽根病院	○		○		
さわ病院	○	○	○	○	○

- ・統合失調症①：クロザピンによる治療が可能
- ・統合失調症②：修正電気けいれん療法(mECT)が可能
- ・認知症①：認知症治療への対応力向上研修が実施可能

◎ 児童・思春期精神科の医療体制

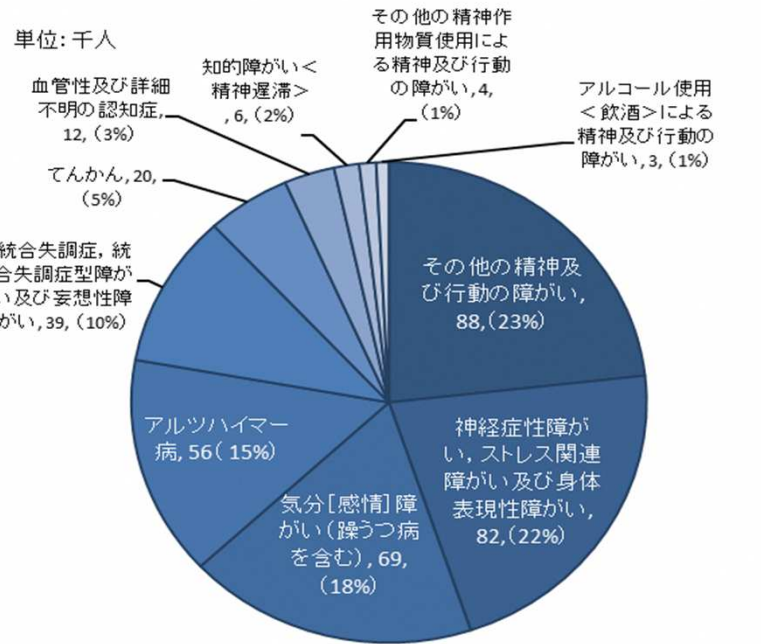
府域基幹精神科病院：大阪精神医療センター
【三次医療圏】 児童思春期精神科病院（入院可）：9病院
【二次医療圏】 豊能圏域内：2病院＋3診療所

◎ 地域連携拠点医療機関

医療機関名	統合失調症	認知症	児童・思春期	高次脳	摂食	成人発達	妊産婦	災害
市立豊中病院		○					○	
小曽根病院	○	○		○				
さわ病院	○	○						○
黒川内科					○			
藤田クリニック	○		12～			○		
赤垣メンタルクリニック			3～					
和クリニック		○						
小川・貴島診療所	○						○	

- * 児童・思春期については、対応可能な最少年齢を記載
- * 高次脳は精神症状対応可能(入院および通院)
- * (専門プログラムなどの)要件を満たしていないが、対応している疾患もある

◎ 大阪府：主たる精神疾患の患者数（令和2年）

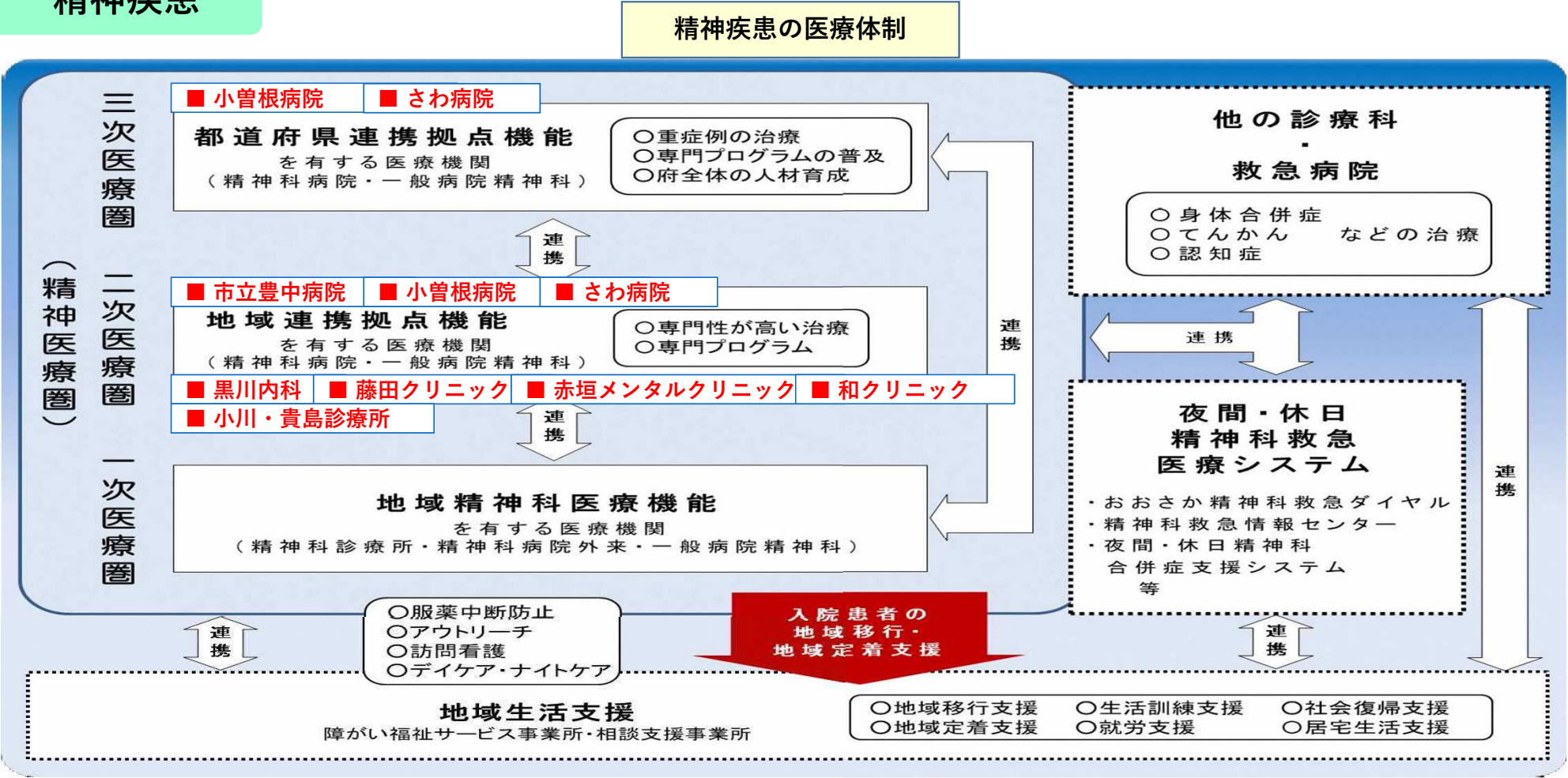


出典：厚生労働省「患者調査」

(3). 豊中市の5疾病の状況

5

精神疾患



(3). 豊中市の5疾病の状況

5

精神疾患

患者の受療動向
(令和3年度 国保・後期高齢者レセプト)

【外来】
豊能二次医療圏

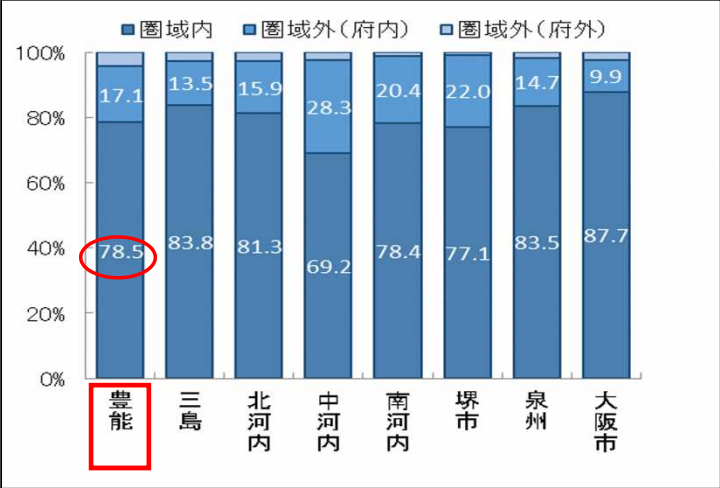
* 外来患者の自己完結率は78.5%
* 流出が流入を上回っている

【入院】
豊能二次医療圏

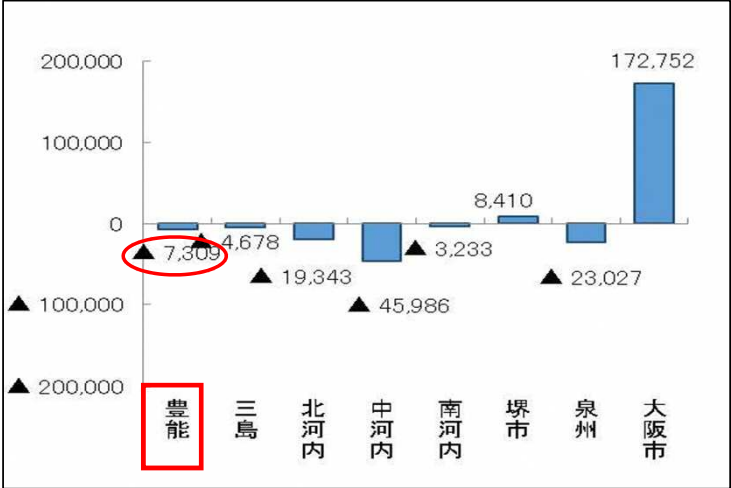
* 入院患者の自己完結率は69.8%
* 流入が流出を上回っている

出典：厚生労働省「データブック」

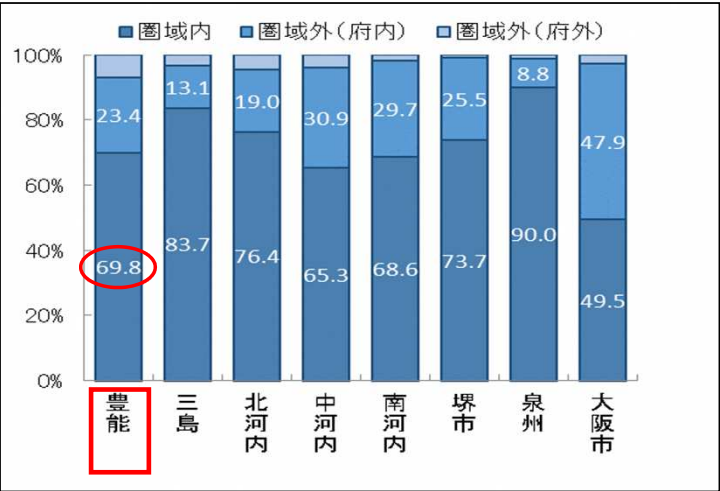
◎ 外来患者の受診先医療機関の所在地（割合）



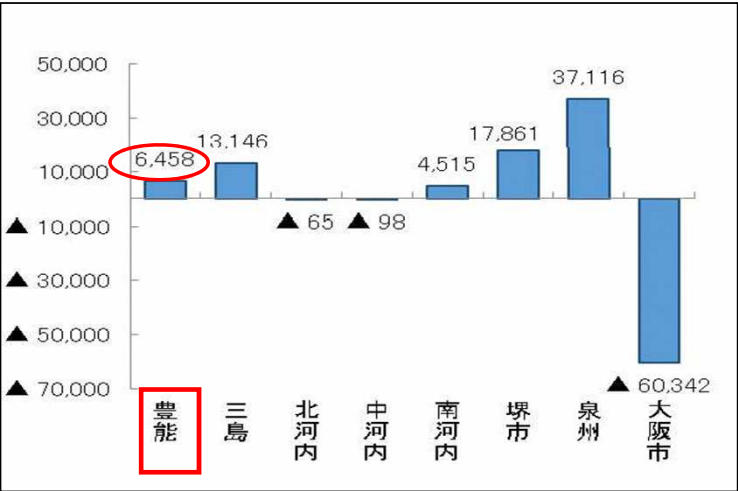
◎ 圏域における外来患者の「流入－流出」(件数)



◎ 患者の入院先医療機関の所在地（割合）



◎ 圏域における入院患者の「流入－流出」(件数)



(4). 豊中市の5事業の状況

1 救急医療

- 初期救急は、豊中市医療保健センターの本部診療所と南部診療所の2施設で実施している。
- 二次救急医療は、市立豊中病院や関西メディカル病院など11施設が実施している。
- 三次救急医療は、豊能医療圏で大阪大学医学部附属病院と済生会千里病院千里救命救急センターで実施している。

初期救急医療体制		
医療機関名	診療科目	診療受付時間
豊中市医療保健センター 本部診療所	内科・小児科・歯科	(休日) 9:30~11:30 13:00~16:30
豊中市医療保健センター 南部診療所	内科・小児科・歯科	(休日) 9:30~11:30 13:00~16:30

二次救急医療体制		
医療機関名	2次告示の救急協力診療科目	
	固定通年制	非通年制（輪番制含む）
市立豊中病院	内科・外科	小児科（火・水・金・日）
関西メディカル病院	内科・外科・整形外科	
大阪脳神経外科病院	脳神経外科	
上田病院	外科	
豊中若葉会病院	内科・整形外科	
豊中敬仁会病院	消化器外科・消化器内科	
大阪刀根山医療センター		呼吸器外科（火・木）
千里山病院		内科（月～金）
小西病院	外科	
小曽根病院		精神科
さわ病院		精神科

【休日・夜間急病診療所／二次救急／三次救急】告示機関数			
	休日・夜間 急病診療所	二次救急 告示機関	三次救急 告示機関
豊能医療圏	7	2 3	2 ※
うち豊中市	2	1 1	0

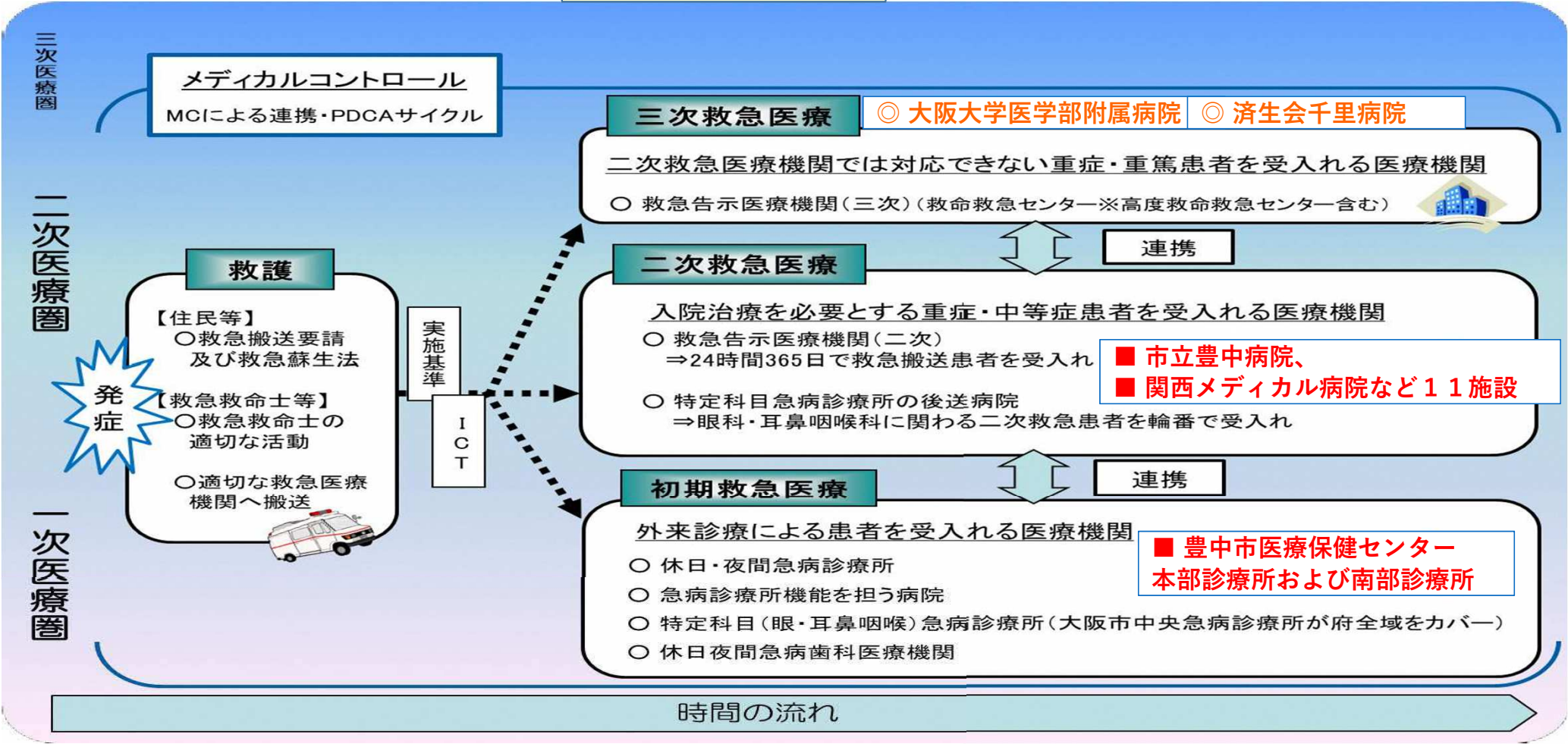
※ 大阪大学医学部附属病院
※ 大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター

(4). 豊中市の5事業の状況

1 救急医療

救急医療体制

■ 豊中市内の医療機関
◎ 豊能二次医療圏内の市外の医療機関



(4). 豊中市の5事業の状況

1

救急医療

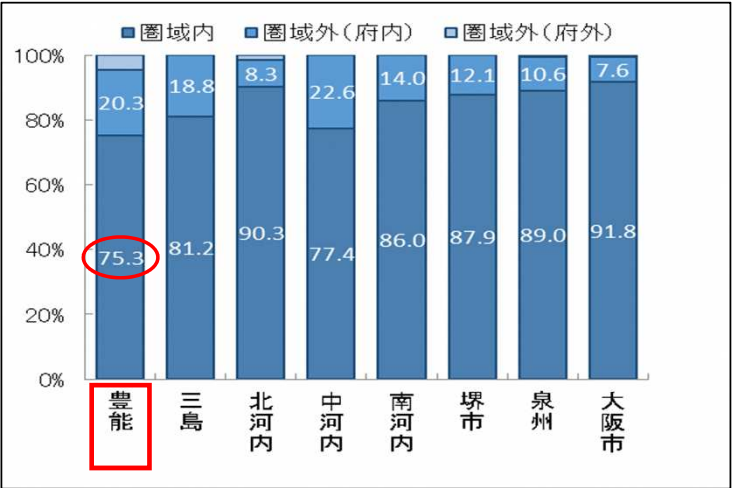
患者の受療動向
 (令和3年度 国保・後期高齢者レセプト)

【外来】
 豊能二次医療圏
 * 外来患者の自己完結率は75.3%
 * 流出が流入を上回っている

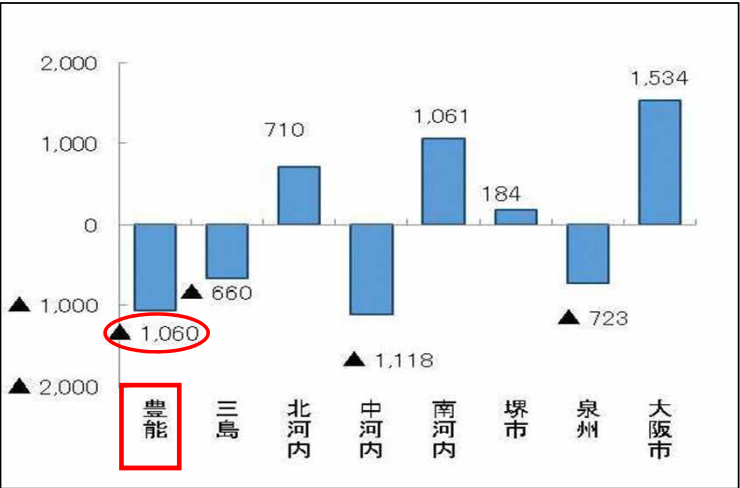
【入院】
 豊能二次医療圏
 * 入院患者の自己完結率は76.4%
 * 流入が流出を上回っている

出典：厚生労働省「データブック」

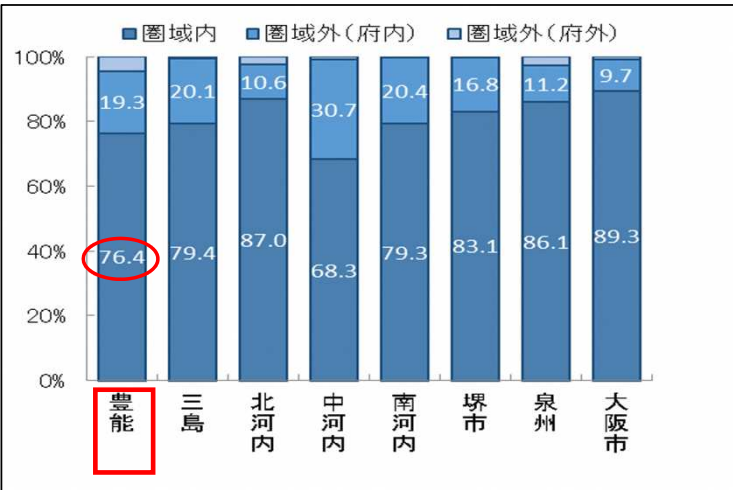
◎ 外来患者の受診先医療機関の所在地（割合）



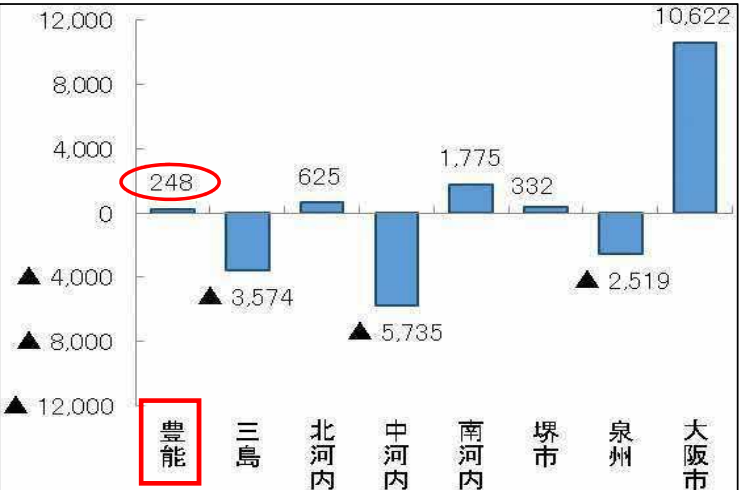
◎ 圏域における外来患者の「流入－流出」（件数）



◎ 患者の入院先医療機関の所在地（割合）



◎ 圏域における入院患者の「流入－流出」（件数）



(4). 豊中市の5事業の状況

2

感染症

感染症法に基づく大阪府と医療機関との医療措置協定等により、新興感染症発生・まん延時の医療・療養体制を確保している。

病院別病床数協議状況一覧 令和6年3月8日時点		流行初期期間 《発生等の公表後3か月程度》		流行初期期間経過後 《発生等の公表後から6か月程度以内》	
		病床数	医療機関（病床数）	病床数	医療機関（病床数）
【豊中市】 確保病床数（軽症中等症病床）		100床	市立豊中病院（30）、大阪刀根山医療センター（30）、関西メディカル病院（10）、小曽根病院（10）、大阪脳神経外科病院（10）、豊中敬仁会病院（10）	170床	市立豊中病院（34）、大阪刀根山医療センター（52）、関西メディカル病院（36）、さわ病院（5）、小曽根病院（10）、大阪脳神経外科病院（10）、小西病院（1）、豊中若葉会病院（10）、豊中敬仁会病院（10）、上田病院（2）
うち患者特性別受入可能病床					
	精神疾患を有する患者	10床	小曽根病院（10）	15床	小曽根病院（10）、さわ病院（5）
	妊産婦（出産可）	1床	市立豊中病院（1）	2床	市立豊中病院（2）
	妊産婦（出産不可）	2床	市立豊中病院（2）	1床	市立豊中病院（1）
	小児	4床	市立豊中病院（4）	6床	市立豊中病院（6）
	透析患者	14床	市立豊中病院（2）、関西メディカル病院（2）、豊中敬仁会病院（10）	18床	市立豊中病院（4）、関西メディカル病院（2）、豊中敬仁会病院（10）、豊中若葉会病院（2）
【豊能圏域】 確保病床数（重症病床）		26床	大阪大学医学部附属病院（20）、済生会千里病院（2）、国立循環器病研究センター（2）、吹田徳洲会病院（2）	43床	市立豊中病院（2）、関西メディカル病院（8）、大阪大学医学部附属病院（25）、済生会千里病院（2）、国立循環器病研究センター（3）、吹田徳洲会病院（2）、済生会吹田病院（1）
後方支援の対応 【豊中市】	感染症患者以外の受入の対応	11病院	さわ病院、小曽根病院、坂本病院分院、小西病院、関西リハビリテーション病院、豊中若葉会病院、平成記念病院、豊中平成病院、坂本病院、千里山病院、上田病院	11病院	さわ病院、小曽根病院、坂本病院分院、小西病院、関西リハビリテーション病院、豊中若葉会病院、平成記念病院、豊中平成病院、坂本病院、千里山病院、上田病院
	感染症から回復後に入院が必要な患者の転院の受入の対応	10病院	さわ病院、小曽根病院、坂本病院分院、関西リハビリテーション病院、豊中若葉会病院、平成記念病院、千里中央病院、豊中平成病院、千里山病院、上田病院	11病院	さわ病院、小曽根病院、坂本病院分院、関西リハビリテーション病院、豊中若葉会病院、平成記念病院、千里中央病院、豊中平成病院、坂本病院、千里山病院、上田病院

(4). 豊中市の5事業の状況

2

感染症

感染症法に基づく大阪府と医療機関との医療措置協定等により、新興感染症発生・まん延時の医療・療養体制を確保している。

病院別発熱外来協議状況一覧 令和6年3月8日時点	発熱 外来	流行初期期間			流行初期期間経過後			
		発熱外来	発熱外来患者数	検査数 (核酸検出検査)	発熱外来	発熱外来患者数	かかりつけ患者 以外の受入	検査数 (核酸検出検査)
市立豊中病院	○	○	20	20	○	20		20
大阪刀根山医療センター	○	○	20	20	○	20		20
関西メディカル病院	○		0	0	○	12	○	12
さわ病院			0	0		0		0
小曽根病院	○	○	20	20	○	20	○	20
大阪脳神経外科病院	○	○	20	20	○	8	○	8
坂本病院分院			0	0		0		0
小西病院	○	○	3	3	○	4		4
関西リハビリテーション病院			0	0		0		0
豊中若葉会病院	○		0	0	○	20	○	20
平成記念病院	○		0	0	○	2	○	2
千里中央病院	○	○	2	2	○	2	○	2
豊中平成病院	○		0	0	○	2	○	2
坂本病院			0	0		0		0
豊中敬仁会病院	○	○	10	10	○	10	○	10
千里山病院	○		0	0	○	5		5
上田病院	○	○	10	10	○	10	○	10

(4). 豊中市の5事業の状況

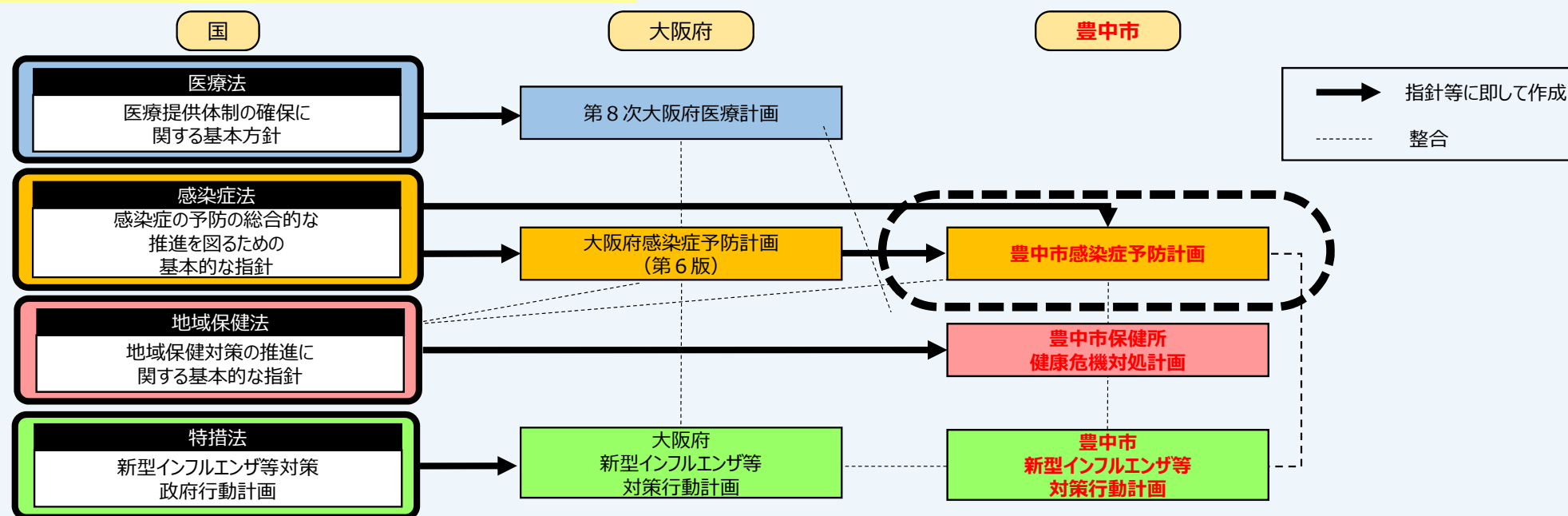
2

感染症

豊中市感染症予防計画【概要】

- 感染症予防の総合的な推進を図るための基本的な計画。感染症対策の方向性を示すもの。
- 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、次の感染症の発生及びまん延に備え、改正感染症法が成立(令和4年(2022年)12月)
 - ・(国)「感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針」(＝基本指針)の改正
 - ・(都道府県)「感染症の予防のための施策の実施に関する計画」(＝予防計画)の改正
 - ・(保健所設置市区) **新たに予防計画を策定**
- 計画期間：令和6年度（2024年度）から令和11年度（2029年度）の6年間（計画期間中でも必要に応じて見直し）

保健・医療分野（感染症関連）における各計画の体系図



(4). 豊中市の5事業の状況

3 周産期医療

- 分娩取扱医療機関は、病院1施設（市立豊中病院）、診療所4施設（うめかげ、直原、たかせ、ひまわり）がある。
- 市立豊中病院は、「地域周産期母子医療センター」に指定されており、ハイリスク妊娠・分娩に対応するNICU（新生児集中治療室）6床、GCU（新生児治療回復室）10床がある。また、大阪府の周産期緊急医療体制であるNMCS（新生児診療相互援助システム）とOGCS（産婦人科診療相互援助システム）に参加し、高度専門的な医療を提供している。

◎ 周産期医療提供体制

医療機関名	各種病床(床)				医療			医療連携	
	産科	母体集中治療室 MFICU	新生児集中治療室 NICU	新生児治療回復室 GCU	正常分娩	選択帝王切開術	緊急帝王切開術	OGCS参加*	NMCS参加*
市立豊中病院	32	※	6	10	○	○	○	○	○

※MFICU:豊能二次医療圏内に大阪大学医学部附属病院:3床、国立循環器病研究センター:6床

出典：豊能二次医療圏 医療機能表 ～医療提供体制〔病院〕（2023年6月30日現在）～

- * [OGCS（産婦人科診療相互援助システム）](#)：重症妊産婦に対する緊急医療体制
- * [NMCS（新生児診療相互援助システム）](#)：低出生体重児やハイリスク新生児に対する緊急医療体制
- * 両システムとも周産期母子医療センターや地域医療支援病院等の府内基幹病院が参加している

分娩取扱医療機関

- ・市立豊中病院 ・うめかげレディースクリニック ・直原ウィメンズクリニック
- ・たかせ産婦人科 ・ひまわりウィメンズクリニック

無痛分娩施設

- ・直原ウィメンズクリニック ・たかせ産婦人科

出典：無痛分娩関係学会団体連絡協議会JALA

◎ 豊中市：出生数の推移

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
3,485人	3,434人	3,033人	3,179人	3,052人

出典：豊中市推計人口

◎ 豊中市：養育医療件数の推移

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
70件	60件	69件	90件	68件

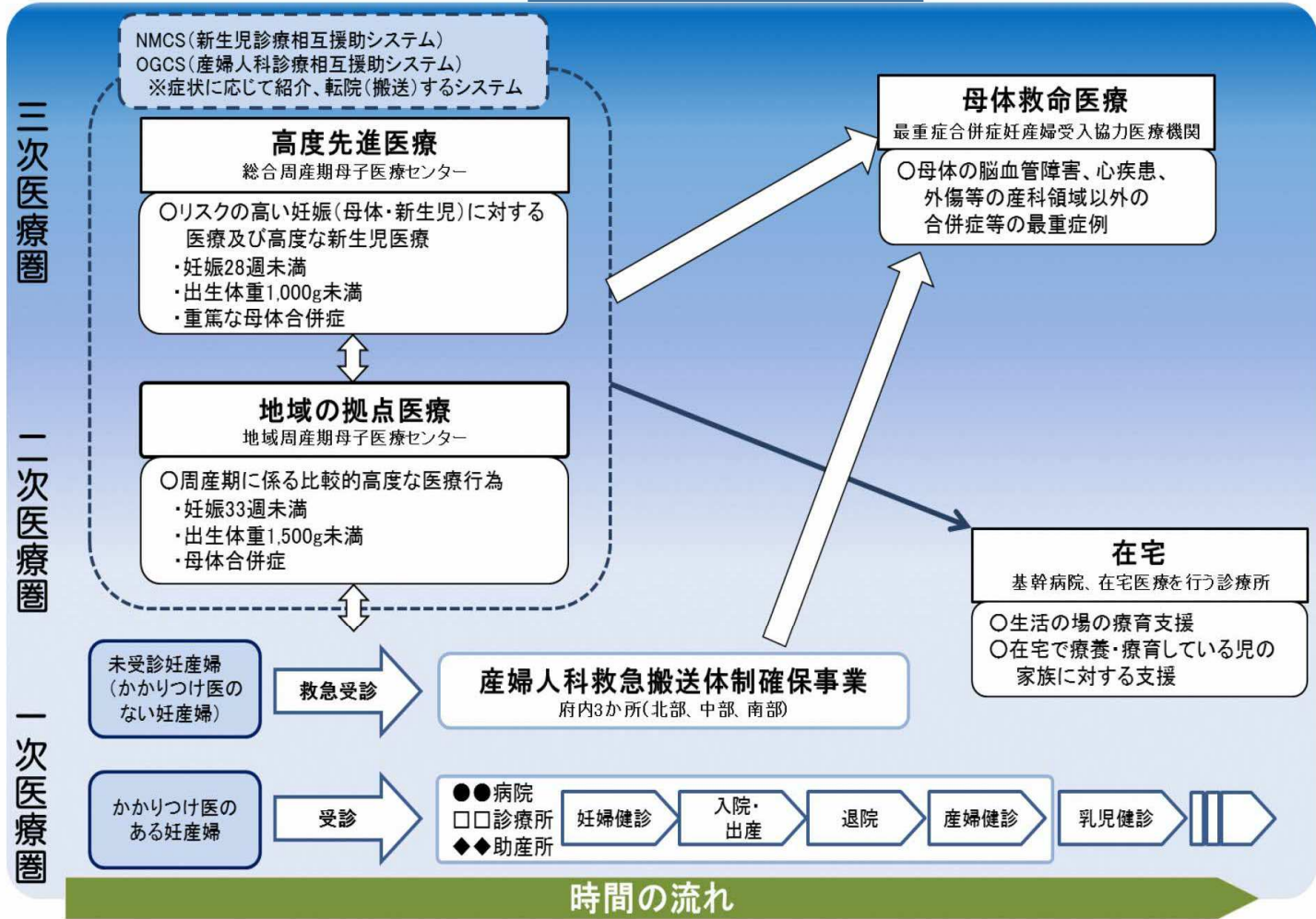
出典：市政年鑑

(4). 豊中市の5事業の状況

3

周産期医療

周産期医療体制



■ 豊中市内の医療機関 ◎ 豊能二次医療圏内の市外の医療機関

- NIPT(非侵襲性出生前遺伝学的検査)
日本医学会出生前検査認証制度等運営委員会
●: 基幹施設、◎: 連携施設
- 総合周産期母子医療センター: 6施設**
- ◎大阪大学医学部附属病院 ●
 - 大阪市立総合医療センター ●
 - 愛仁会高槻病院 ●
 - 大阪母子医療センター ●
 - 関西医科大学附属病院 ●
 - 愛染橋病院 ◎
- 地域周産期母子医療センター: 17施設**
- 市立豊中病院 ◎
 - ◎済生会吹田病院 ◎
 - ◎国立循環器病研究センター ●
 - 淀川キリスト教病院
 - 愛仁会千船病院 ◎
 - 大阪医科薬科大学病院 ● など
- 分娩取扱診療所: 4施設**
- うめかげレディースクリニック
 - 直原ウィメンズクリニック ◎
 - たかせ産婦人科
 - ひまわりウィメンズクリニック

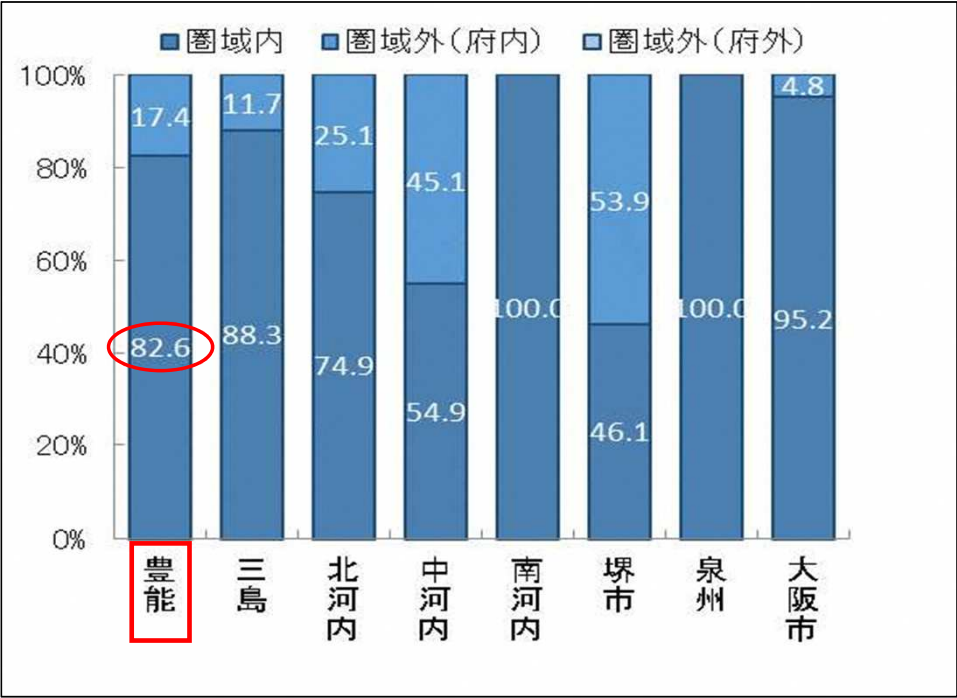
(4). 豊中市の5事業の状況

3

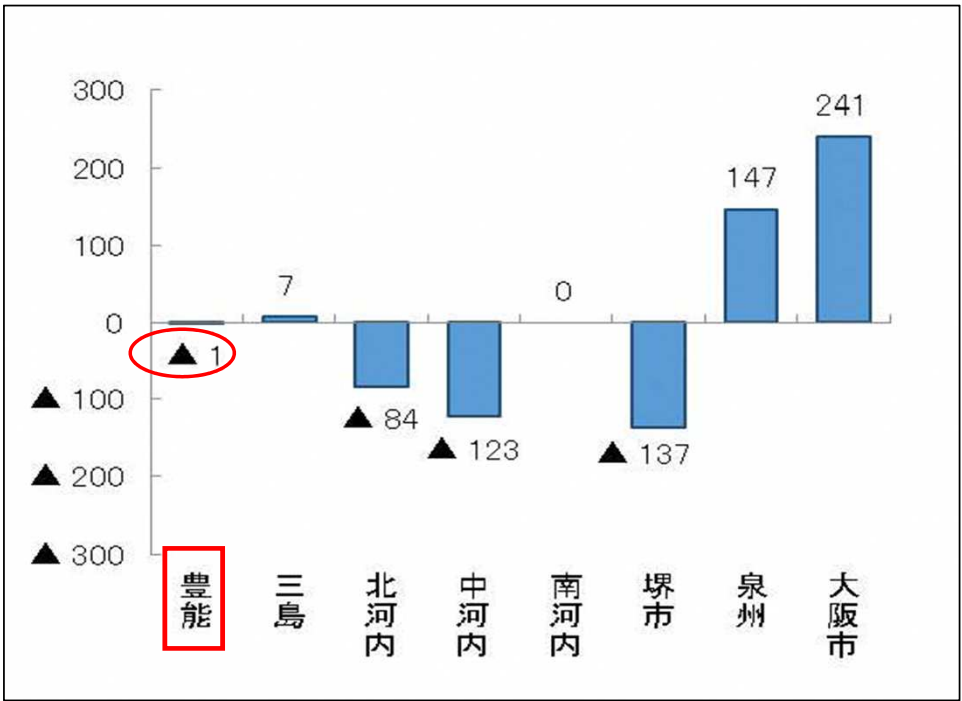
周産期医療

患者の受療動向（令和3年度 国保・後期高齢者レセプト）

◎ 患者の入院先医療機関の所在地（割合）



◎ 圏域における入院患者の「流入－流出」（件数）



【周産期医療】豊能二次医療圏：入院患者の自己完結率は82.6%。流出が流入を上回っている。

出典：厚生労働省「データブック」

(4). 豊中市の5事業の状況

4 小児医療

- 市立豊中病院は、「小児地域医療センター」に指定されており、一般小児医療を担う医療機関では対応が困難な患者に対し、高度な診断・検査・治療などの小児専門医療を提供している。
- 初期小児救急は、豊能広域こども急病センターが担い、その後送病院として市立豊中病院など5病院が、小児二次救急医療（輪番制）を行う。

◎ 小児医療提供体制

医療機関名	病床(床)
	小児科
市立豊中病院	28

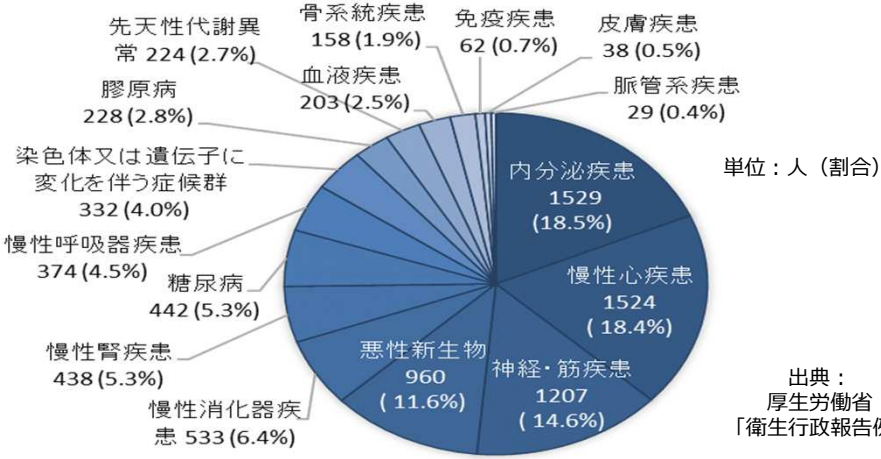
出典：豊能二次医療圏 医療機能表 ～医療提供体制〔病院〕（2023年6月30日現在）～

◎ 豊中市における小児慢性特定疾病件数の推移

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
409件	412件	462件	417件	432件

出典：市政年鑑

◎ 大阪府：小児慢性特定疾病疾患群別 交付者割合（令和4年度）



◎ 小児救急医療体制（豊能二次医療圏）

初期救急	豊能広域こども急病センター
二次小児救急医療機関（輪番制）	市立豊中病院、箕面市立病院、市立池田病院、市立吹田市民病院、済生会吹田病院

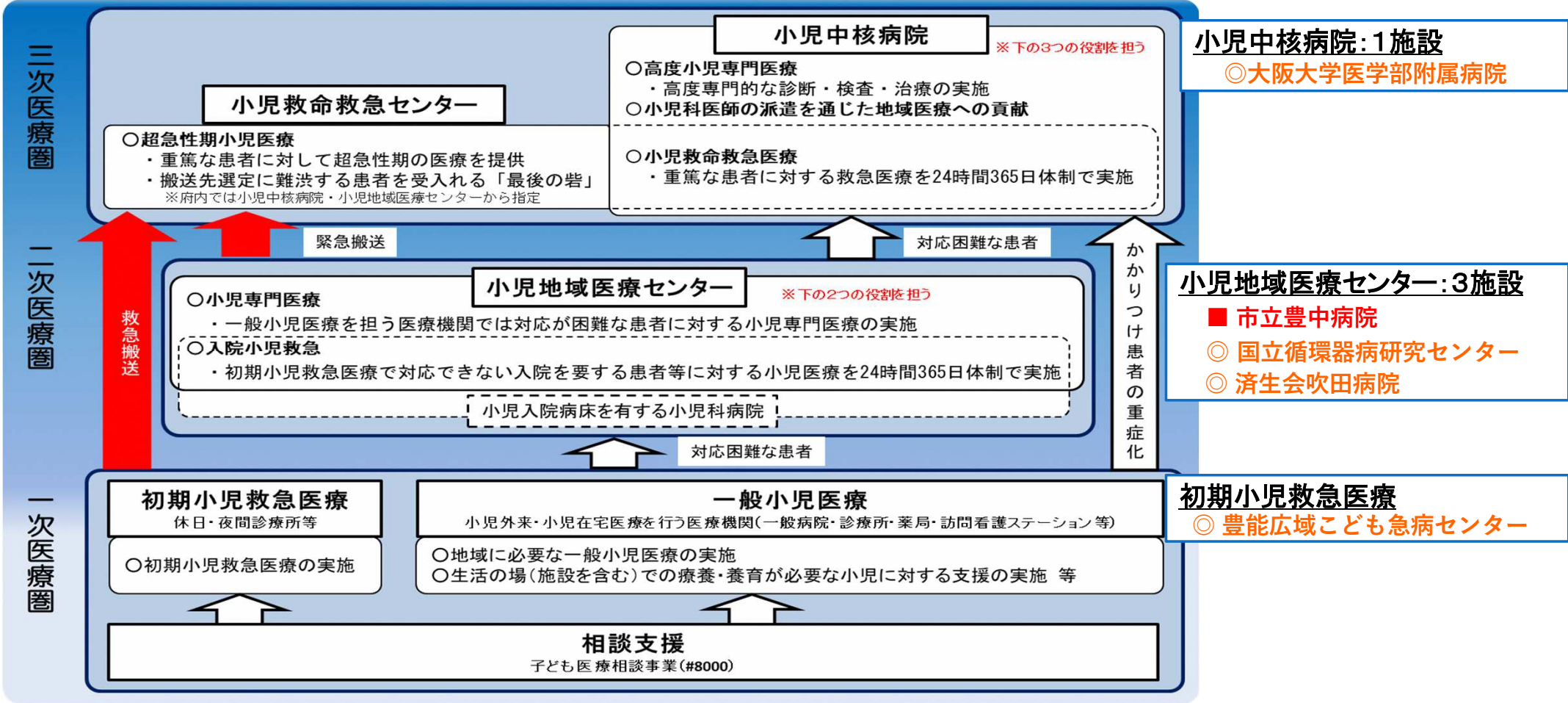
(4). 豊中市の5事業の状況

4

小児医療

小児医療体制

■ 豊中市内の医療機関 ◎ 豊能二次医療圏内の市外の医療機関



(4). 豊中市の5事業の状況

4

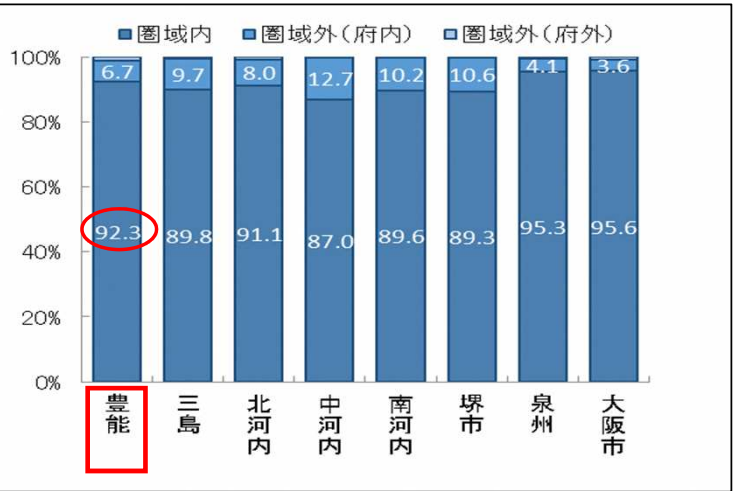
小児医療

患者の受療動向
(令和3年度 国保・後期高齢者レセプト)

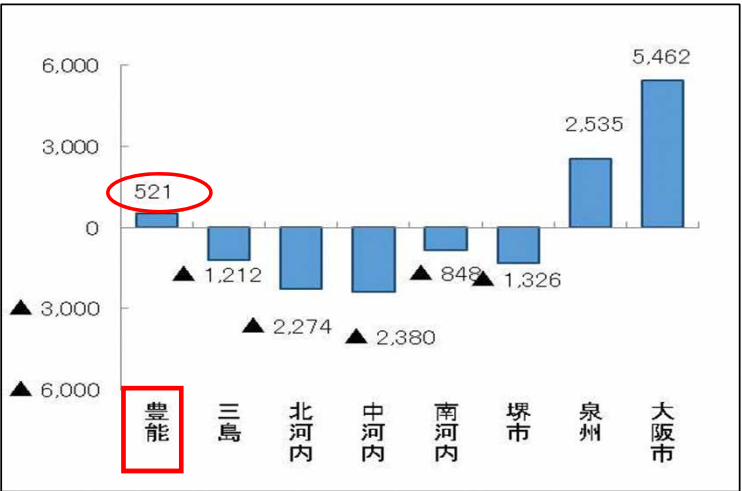
【外来】
豊能二次医療圏

* 外来患者の自己完結率は92.3%
* 流入が流出を上回っている

◎ 外来患者の受診先医療機関の所在地（割合）



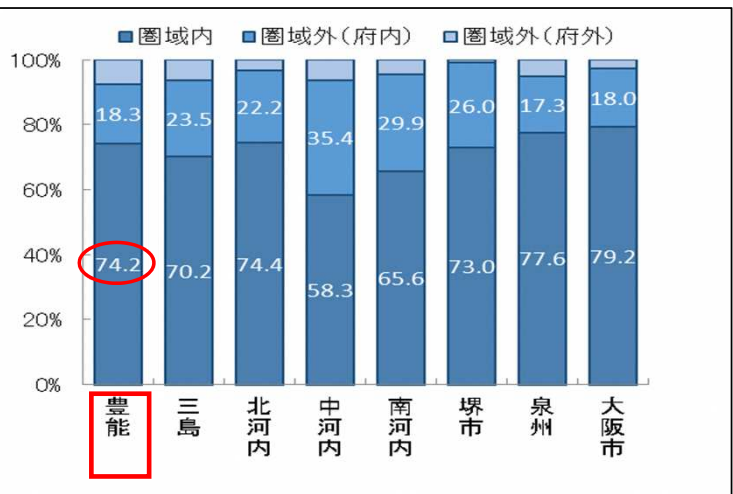
◎ 圏域における外来患者の「流入－流出」(件数)



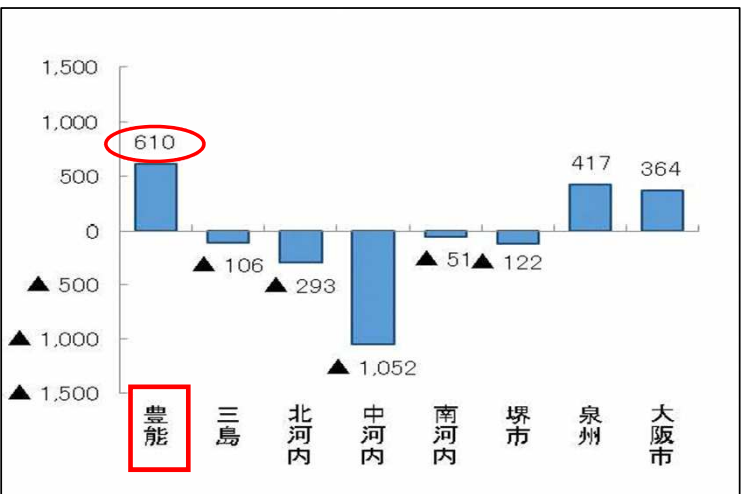
【入院】
豊能二次医療圏

* 入院患者の自己完結率は74.2%
* 流入が流出を上回っている

◎ 患者の入院先医療機関の所在地（割合）



◎ 圏域における入院患者の「流入－流出」(件数)



出典：厚生労働省「データブック」

(4). 豊中市の5事業の状況

5 在宅医療

- 在宅療養支援病院は、千里山病院、小西病院、豊中平成病院、平成記念病院の4施設がある。
- 在宅療養後方支援病院は、大阪刀根山医療センター、関西メディカル病院、千里中央病院の3施設がある。
- 在宅療養支援診療所は、市内86医療機関あり、このうち機能強化型：単独型1施設、連携型27施設がある。
- 在宅医療等の需要は、2030年頃をピークに今後増加することが予想されている。

◎ 在宅医療提供体制

医療機関名	地域医療支援病院	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	医療			
				在宅患者訪問診療	在宅時医学総合管理	医療保険による訪問看護	在宅ターミナルケア対応
市立豊中病院	○					○	
大阪刀根山医療センター			○				○
関西メディカル病院	○		○	○	○	○	○
上田病院					○		
千里山病院		○		○			
小西病院		○		○	○		
千里中央病院			○				
豊中若葉会病院				○			
豊中平成病院		○			○	○	○
平成記念病院		○		○	○	○	○
小曽根病院				○			
さわ病院				○		○	

出典：豊能二次医療圏 医療機能表 ～医療提供体制〔病院〕（令和5年6月30日現在）～

在宅療養支援診療所
市内86医療機関 （機能強化型：単独型1施設、連携型27施設）

◎ 訪問診療の需要見込み

単位：人／日

市町村名	2023年	2024年	2025年	2026年	2029年	2023～2029年の伸び率
豊中市	5,107	5,309	5,507	5,618	5,949	1.16
池田市	1,417	1,476	1,533	1,532	1,530	1.08
吹田市	4,384	4,570	4,751	4,974	5,643	1.29
箕面市	1,838	1,935	2,024	2,039	2,085	1.13
豊能町	385	402	418	378	256	0.66
能勢町	190	197	202	185	136	0.72
豊能	13,321	13,889	14,435	14,726	15,599	1.17
大阪府	110,075	115,359	120,312	123,259	132,417	1.20

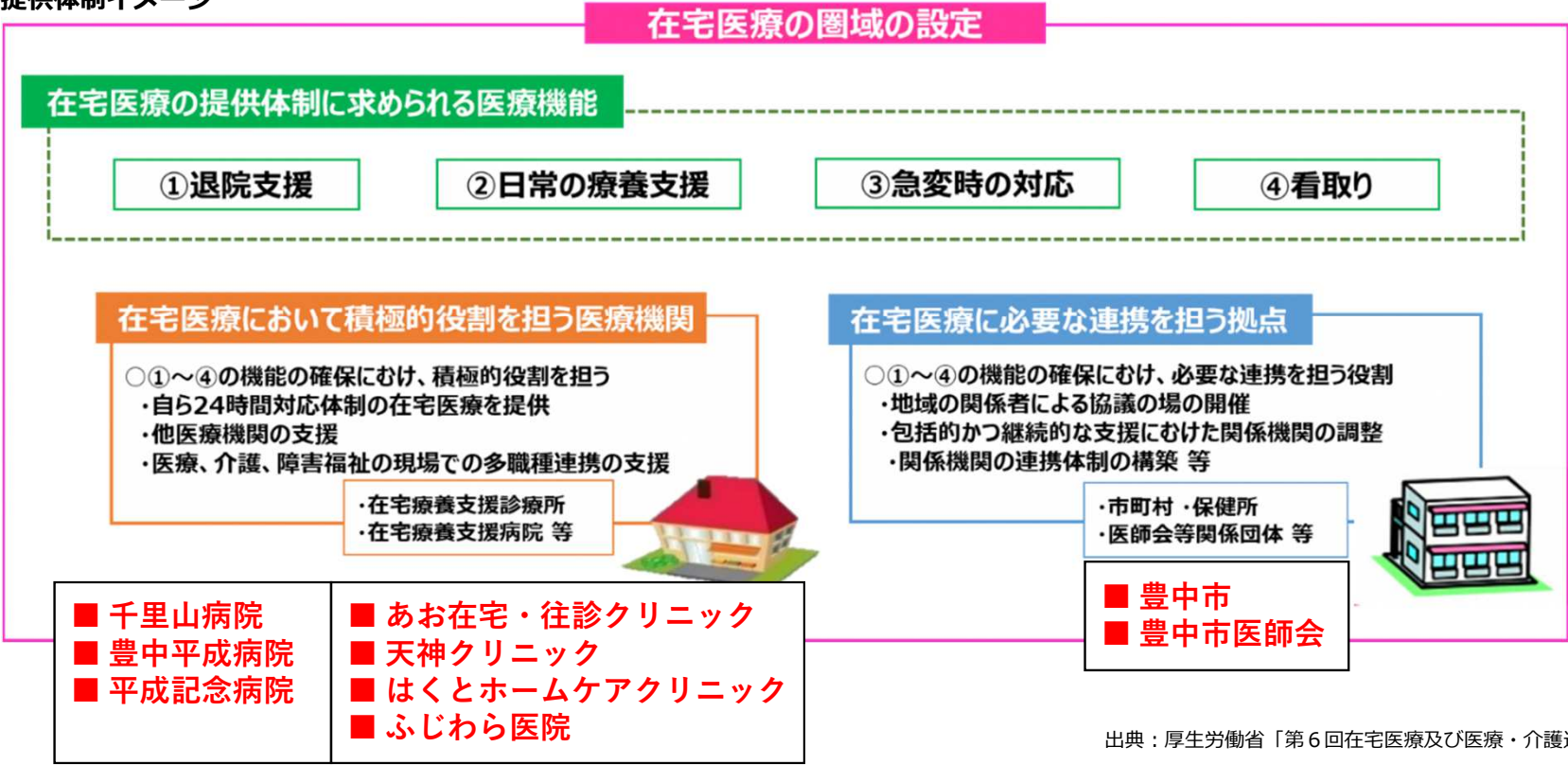
出典：第8次大阪府医療計画

(4). 豊中市の5事業の状況

5 在宅医療

■ 第8次大阪府医療計画（2024年度～2029年度）に基づく在宅医療の体制構築について、積極的役割を担う医療機関は、7医療機関（3病院と4診療所）がある。
在宅医療に必要な連携を担う拠点は、豊中市と豊中市医師会が共同で担う。

「在宅医療の体制構築に係る指針」による
在宅医療の提供体制イメージ

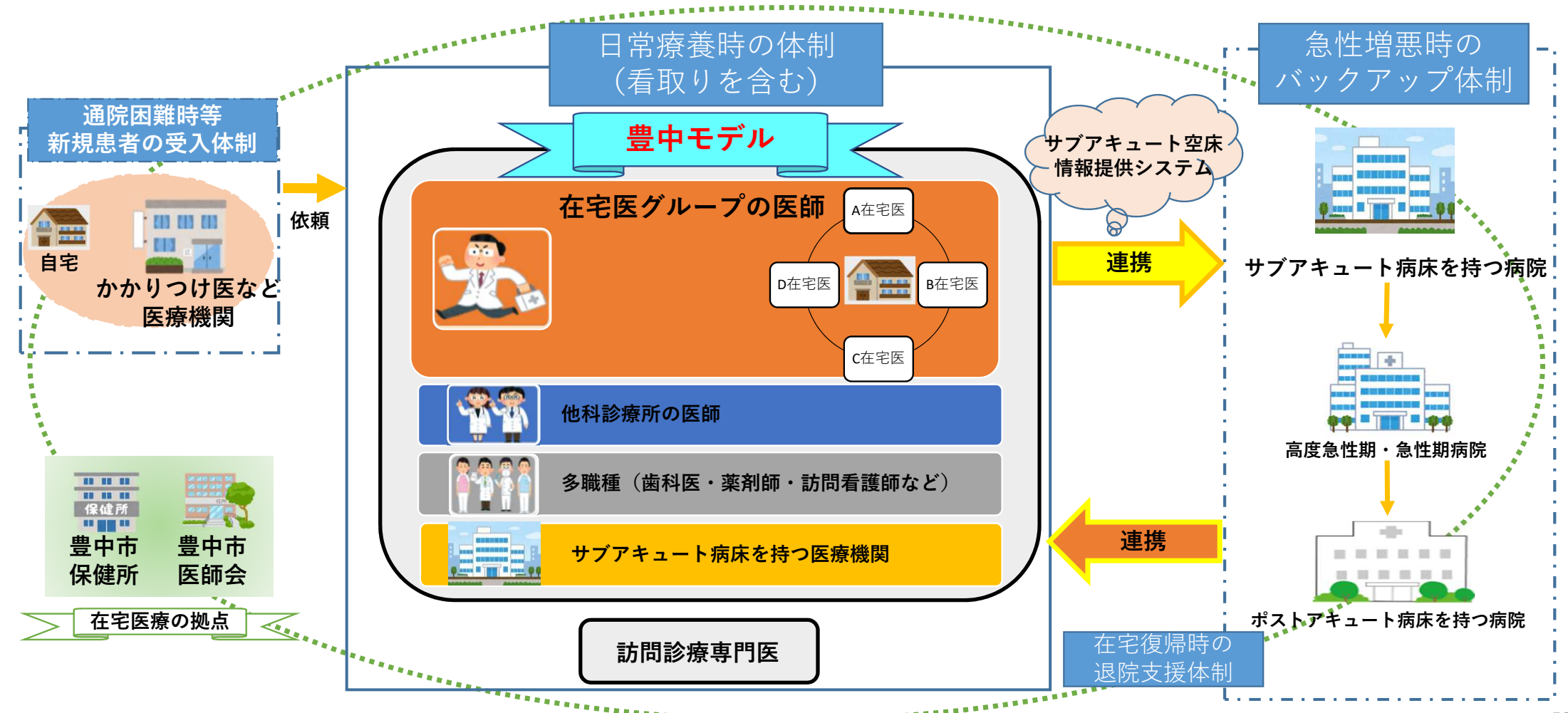


出典：厚生労働省「第6回在宅医療及び医療・介護連携に関するWG」資料

(4). 豊中市の5事業の状況

5 在宅医療

豊中モデル 持続可能な質の高い在宅医療体制の強化のために、診療所がグループ化を行い、それを専門診療科や多職種が支援を行う。また、「サブアキュート空床情報提供システム」により病院の空床情報を提供する。



(4). 豊中市の5事業の状況

受療動向のまとめ

患者の受療動向
(令和3年度 国保・後期高齢者レセプト)

豊能二次医療圏
【外来患者の流出入の状況】

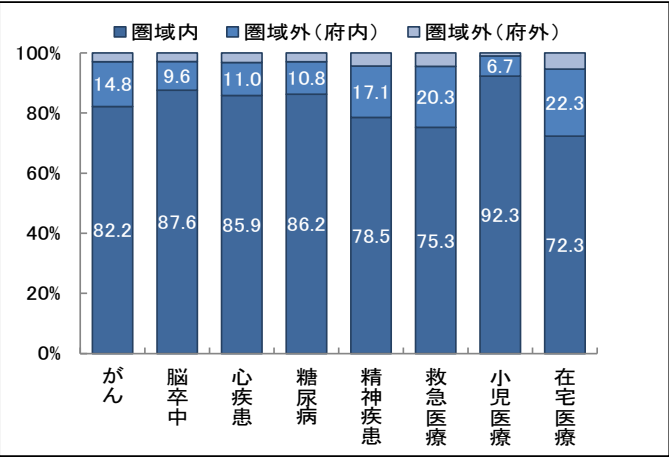
- 圏域外への患者流出割合は10%～20%程度となっている。
- がん、脳卒中、心疾患、糖尿病は流入超過となっている。
精神疾患が、とくに流出超過となっている

豊能二次医療圏
【入院患者の流出入の状況】

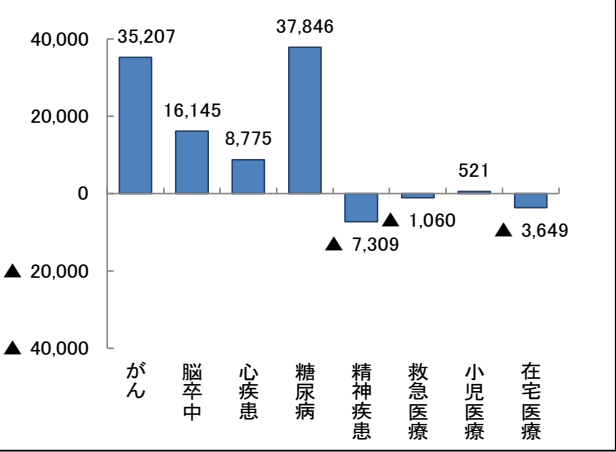
- 圏域外への患者流出割合は15%～25%程度となっている。
- 精神疾患と糖尿病が、とくに流入超過となっている。

出典：厚生労働省「データブック」

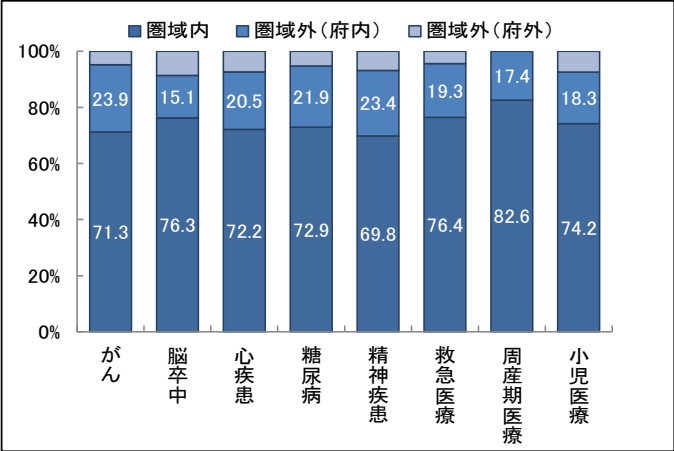
豊能二次医療圏：外来患者の流出【割合】



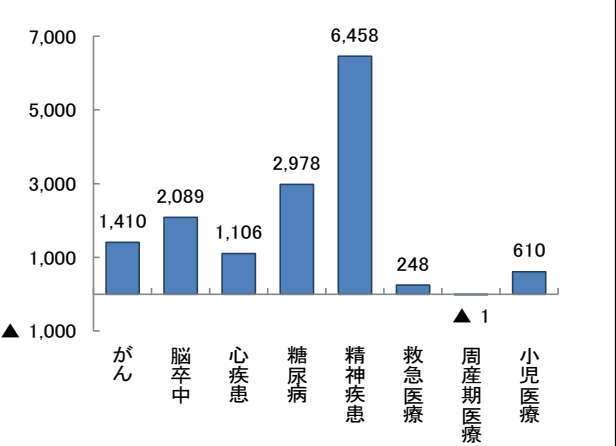
豊能二次医療圏：外来患者の流入－流出【件数】



豊能二次医療圏：入院患者の流出【割合】



豊能二次医療圏：入院患者の流入－流出【件数】



(5). 市立豊中病院の役割と方向性

病院概要

診療科目・施設概要		
診療科目	31診療科	内科（総合内科）、内分泌・代謝内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、救急科
専門医療センター	5センター	消化器センター 脳卒中センター 心臓病センター 糖尿病センター 地域周産期母子医療センター
がん診療部	4センター	がん相談支援センター 緩和ケアセンター がん薬物療法センター がんゲノム医療センター
病床数	563床	一般549床、感染14床
病棟	15病棟	一般14病棟、感染1病棟
敷地面積	28,364平方メートル	
延床面積	67,544平方メートル（駐車場・保育所・附属棟を含む）	

役割等	認定・指定
地域医療の確保と連携強化	地域医療支援病院
	紹介受診重点医療機関
がん医療	地域がん診療連携拠点病院
	がんゲノム医療連携病院
救急医療	救急告示病院（2次告示）
災害医療	市町村災害医療センター
感染症医療	感染症指定医療機関（第二種）
周産期医療	地域周産期母子医療センター
小児医療	小児地域医療センター
医療人材育成	臨床研修指定病院（医科）
	臨床研修指定病院（歯科）
第三者評価	日本医療機能評価機構認定病院
	卒後臨床研修評価機構認定病院

(5). 市立豊中病院の役割と方向性

★ 重点項目

■ 基本理念：豊中市の中核病院として『心温かな信頼される医療』を提供します

■ 基本目標：地域医療機関等との連携を一層推進し、地域の中核病院として、急性期医療を安定的に提供することで地域医療を支えます

★ がん	* 国指定の「地域がん診療連携拠点病院」として、ロボット支援手術を含めた低侵襲手術や放射線治療、外来がん薬物療法、大阪大学医学部附属病院と連携したがんゲノム医療など質の高いがん医療を提供する。 * AYA世代を対象としたがんサロンの開設や治療と仕事の両立サポートなど、がん相談支援センターが中心となり、がん患者やその家族が安心して治療を受けられるよう支援を行う。 * 定期的に市民を対象とした最新のがんの予防・診断・治療に関する講演会を開催し、啓発や情報提供を行う。 * 地域のがん医療水準向上を目的に、地域の医療従事者を対象に研修会や合同カンファレンスを開催する。
★ 小児・周産期医療	* 「小児地域医療センター」及び「地域周産期母子医療センター」としての機能を活かし、ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩への対応など、質の高い小児・周産期医療を安定的に提供する。 * 大阪府の周産期緊急医療体制であるNMCS（新生児診療相互援助システム）とOGCS（産婦人科診療相互援助システム）参加病院として、地域の医療機関の要請に応じて、重症新生児や母体及び胎児が危険状態にある妊産婦を受け入れ、高度専門的医療を提供する。 * 妊娠期から分娩後まで、必要に応じて精神科リエゾン活動や産後ケア等の妊産婦支援を行い、周産期メンタルヘルスを支える。 * 市立病院として、「はぐくみセンター」や府内中核市初となる2025年度開設予定の児童相談所などの豊中市のこども政策に係る各部門との連携のもと、市の重点政策である『こども政策の充実・強化』の一翼を担う。
★ 感染症	* 豊能・三島医療圏唯一の感染症病床を有する第二種感染症指定医療機関として、二類感染症（MERS、鳥インフルエンザなど）や新型インフルエンザ等感染症患者の入院治療を担う。 * 新興感染症等の発生に備えた施設整備の充実と専門人材の育成などに取り組み、市民の健康を守る医療を維持する。

(5). 市立豊中病院の役割と方向性

がん

■ 市立豊中病院では、国指定の“★地域がん診療連携拠点病院”に指定されており、高度専門的な機能を有し、地域の医療機関からの紹介でがん患者を受け入れている

(★豊能二次医療圏では「市立豊中病院」と「大阪大学医学部附属病院」の2病院のみが指定されている)

機能等

質の高いがん診療

がん診療

- * ロボット支援手術を含めた低侵襲手術
- * 放射線治療
- * がん薬物療法
- * がんゲノム医療

がん患者の状態に応じた適切ながん治療
(さまざまな治療法を組み合わせる治療等)

緩和ケア

- * 「緩和ケアセンター」の取組み

がん患者の身体的な苦痛や精神的な不安を
和らげるためのサポート

がん相談

- * 「がん相談支援センター」の取組み

がんに関する不安や悩みの問題解決を
サポート

(5). 市立豊中病院の役割と方向性

小児・周産期医療

■ 市立豊中病院では、北摂地域の中核病院として「小児地域医療センター」及び「地域周産期母子医療センター」に指定されており、産科医療機関の機能に加えて、母体や新生児の生命に関わる緊急事態が発生した際、産科と小児科が一体となって対応している

周産期医療

機能等

- * NICU 6床（新生児集中治療室）
GCU 10床（新生児治療回復室）
- * 周産期緊急医療体制（OGCS・NMCS）参加機関（院外から新生児搬送症例の受入れ）
- * 「出生前検査認証制度等運営委員会」の連携施設
- * 精神科リエゾン活動・産後ケア

質の高い小児・周産期医療

- ・ ハイリスク妊娠・多胎妊娠などを受け入れ、24時間体制での周産期緊急医療（緊急帝王切開術、その他の緊急手術を含む）に対応
- ・ 早産児や合併症のある妊産婦への医療提供
- ・ NIPT（非侵襲性出生前遺伝学的検査）実施
- ・ 周産期メンタルヘルスを支える取組み

小児医療

- * 小児科専用病棟 28床
- * 「豊能広域こども急病センター」の後送病院（輪番制）
- * 医療的ケア児を支える体制

- ・ 一般小児医療を担う医療機関では対応が困難な患者に対する小児専門医療の実施
⇒ 豊能二次医療圏において大阪大学医学部
附属病院に次ぐ高度医療の提供

(5). 市立豊中病院の役割と方向性

5 疾病

がん (一部再掲)	● 「がん相談支援センター」において、患者・家族への幅広い相談対応や、がんサロンの企画・運営を行う。 ● 「緩和ケアセンター」において、がん患者の身体的な苦痛や精神的な不安を和らげるためのサポートを行う。 ● 「がん薬物療法センター」において、個々に患者の治療内容を管理し安全かつ円滑な抗がん剤治療を実施する。 ● 「がんゲノム医療センター」において、質の高い“がんゲノム医療”と“遺伝カウンセリング”を提供する。 ● 「消化器センター」において、高度専門医療としての消化器がんの診断・治療を行う。
脳卒中等の 脳血管疾患	● 「脳卒中センター」において、24時間対応で脳卒中急性期（発症から初期の治療を要する期間）の患者を対象として、内科的治療（血栓溶解療法・合併症の予防など）、外科的治療（緊急手術、血管内治療など）のいずれにも対応できるチーム医療を行う。 ● 重症患者に対しては、SCU（脳卒中ケアユニット）等の専門病床で集中的に治療を行う。
心筋梗塞等の 心血管疾患	● 「心臓病センター」において、急性心筋梗塞や心不全の急激な悪化、手足の動脈が閉塞して痛む、といった生命に危険を及ぼす病気に24時間対応を行う。 ● 増加する高齢心不全患者に対し、地域の医療・介護機関との密な連携により再入院を防ぎ、安心して地域で暮らせる医療を提供する。
糖尿病	● 「糖尿病センター」において、急性合併症（高血糖緊急症や感染症）に対して確実かつ迅速な医療を提供するとともに、周術期の適正な血糖管理を実施し、予後の改善に繋げる。 ● 新規発症の糖尿病患者に対する専門的治療と糖尿病教育や、かかりつけ医と連携し増悪時の治療や安定期の療養指導を実施する。また、市民に対する発症予防を含めた糖尿病の啓発活動に取り組む。
精神疾患	● 精神科医、老人看護専門看護師、公認心理士などで構成する精神科リエゾンチームによるせん妄の予防・治療、認知機能の評価、各種精神疾患の治療を実施する。また、小児・周産期領域まで広く活動することで、児童・思春期症例の相談事案にも対応する。 ● 治療や入院によって一時的に低下した体力や精神的な落ち込みの軽減を目的とした院内デイケアを実施する。

(5). 市立豊中病院の役割と方向性

4 事業＋地域医療

救急医療	● 救急部門（救急総合診療センター）における人材育成、救急救命士の確保および救急スペースの拡充に努め、二次救急医療機関として救急車応需件数の増加をめざす。 ● 高齢者施設やポストアキュート（急性期を経過したもののまだ入院治療が必要な患者を受け入れる機能）病院との連携を密にし、高齢者急病患者的の受け入れ数の増加をめざす。
周産期医療 （一部再掲）	● 「地域周産期母子医療センター」において、産科部門では、ハイリスク妊娠・多胎妊娠などを受け入れ、妊娠期からの入院や手術を取り扱い、無事に出産できるように母子のケアを行う。また、NICU（新生児集中治療室）部門では、低出生体重児などに対して必要な集中治療を行う。 ● 出生前検査認証制度等運営委員会の連携施設として、NIPT（非侵襲性出生前遺伝学的検査）を実施する。
小児医療 （一部再掲）	● 一般小児医療を担う医療機関では対応が困難な患者に対する小児専門医療を行うとともに、初期小児救急を担う「豊能広域こども急病センター」の後送病院（輪番制）として、小児二次救急医療を行う。 ● 医療的ケアの必要な子どもたちに対して、指示医の役割（指示書作成等）や学校現場への看護師派遣を行うとともに、ケア技術向上のための院内研修実施など医療的ケア児を支える取組みを推進する。
感染症 （一部再掲）	● ICT（感染対策チーム）による院内感染防止対策及びAST（抗菌薬適正使用支援チーム）による抗菌薬適正使用の教育・啓発など現場における実践チームにおいて、患者および職員を院内感染から守る活動を行う。 ● 感染対策室が中心となり、平時から豊中市保健所および豊中市医師会と連携し、地域の病院・診療所・福祉施設等に対して、新興感染症だけでなく、耐性菌対策等の感染対策向上に取り組む。
地域医療	● 大学病院など高度急性期医療機関との連携を更に強化すると同時に、地域医療機関等との役割分担を推進し、住み慣れた地域で高度な急性期医療を受けることができるよう地域全体の医療提供体制構築に貢献する。 ● 地域の医療機関等に対する症例検討会や医療安全対策、感染対策等の情報提供や、市民への公開講座などを通じて、地域全体の医療水準向上に寄与する。